

ONKYO®

オーディオ機器の正しい使いかた 4

CD / MD チューナーアンプ

FR-V5

取扱説明書

接続する 8

準備する 10

基本機能ですぐ楽しい 16

いろいろな機能を使ってみる 26

拡張的な機能を使う 45

その他 52

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。お読みになったあとは、いつ
でも見られる所に保証書とともに大切に保管してくだ
さい。

主な特長／付属品

- シンプルで使いやすいCD／MDチューナーアンプ
- CDからMDへ簡単に編集が可能
- 音質重視のディスクリートアンプ採用
- 3系統入力装備（TAPE、LINE-1、LINE-2）
- 光デジタル入力&サンプリングレートコンバーター搭載
- 外部機器とも連動するシグナルシンクロ録音機能

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（ ）内の数字は数量をあらわしています。

- FM室内アンテナ（1）
- AM室内アンテナ（1）
- リモコン-RC-378S（1）
- 単3乾電池（2）



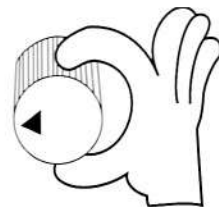
- 取扱説明書（本書1）
- 保証書（1）

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次

オーディオ機器の正しい使いかた	4
-----------------------	---

接続する

本機の接続をする	8
外部機器を接続する	9
電源コードを接続する	10

準備する

操作の前に共通の基本操作を理解する	10
曜日と現在時刻を設定する	11
FM局を自動で登録するーオートプリセット	12
AM、FM局を1局ずつ登録するープリセットライト	13
リモコンを準備する	15

基本機能ですぐ楽しい

CDを聞く	16
MDを聞く	18
FM/AM放送を聞く	20
CDダビング機能を使う（基本編）	22
FM、AM放送をMDに録音する	24

いろいろな機能を使ってみる

CD/MDのいろいろな再生	26
音質を調整する	29
CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける	30
CDダビング機能を使う（応用編）	32
CD→MDのシンクロ録音機能を使う	32
録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）/消去をする	33
外部機器をMDに録音する	38
K-505とのシステム録音操作	39
タイマー機能を使う	40

拡張的な機能を使う

外部入力機器の表示名称を変える	45
FM/AMのプリセットチャンネルを編集する	46
別売MD専用リモコン、RC-339MDを使う	48

その他

FM/AM屋外アンテナを接続する	52
メッセージ一覧	52
デジタル入力録音時のルールについて	53
MDのシステム上の制約について	53
コンパクトディスク（CD）について	54
ミニディスク（MD）について	54
主な仕様	55
故障?と思ったら	56
各部の名称	58
アフターサービスについて	裏表紙
オンキョーサービス網一覧表	裏表紙

8

10

16

26

45

52

オーディオ機器の正しい使いかた

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



図の中に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

警告

■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜け



- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対、キャビネットははずさない、改造しない



分解禁止

- 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない



- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない



- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があげてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
 - ・ 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
 - ・ 本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
 - ・ テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
 - ・ 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

■ 水のかかるところに置かない



水場での
使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ
禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



- 本機の通風孔、ディスク挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら



電源プラグをコンセント
から抜け

- 万一、機器の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



電源プラグをコンセント
から抜け

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない



- 雷が鳴りだしたら、製品本体やアンテナ線、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた (つづき)



警告 (つづき)

■ 乾電池を充電しない



- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



注意

■ 設置上の注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、強度の足りない台などに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



- 本機を他のオーディオ機器、テレビ等の機器に接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意



- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまれない
ように注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意



- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜け

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について



- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて



- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をおすすめします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除・点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には、経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。



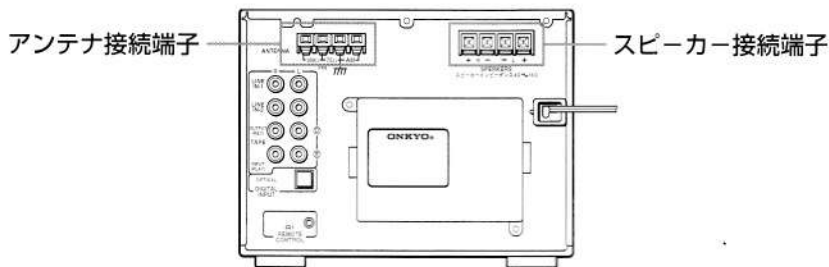
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。



- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いになるときは、それに添付の注意書などをお読みください。

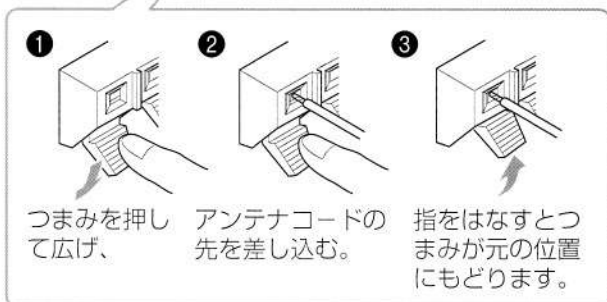
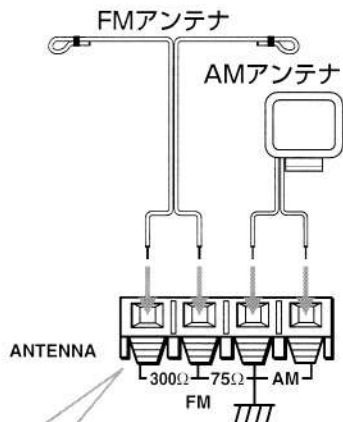
電源コードを接続するのは、他のすべての接続が終わってから！

本機の接続をする



◆ 付属のFM / AM アンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながらおこないます (20 ページ)。



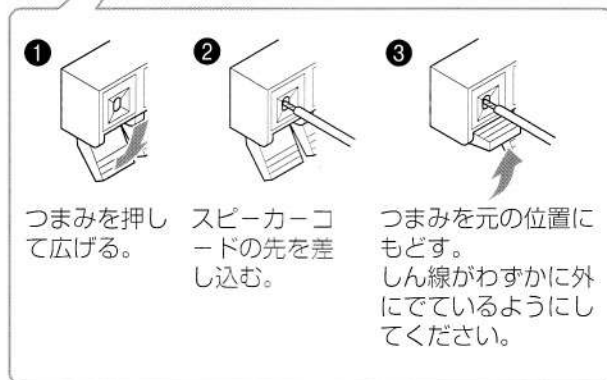
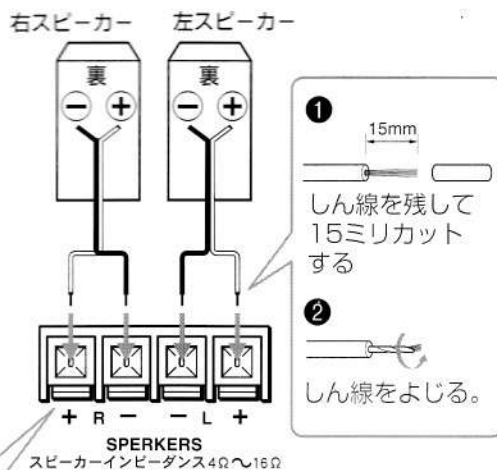
ヒント

アンテナコードはAM、FMとも左右コードに、極性などによる区別はありません。

屋外アンテナを接続するときは

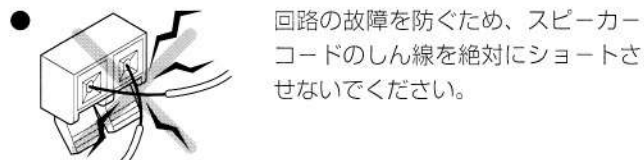
「FM / AM屋外アンテナを接続する」(52ページ)を参照してください。

◆ スピーカーを接続する



ご注意

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えて接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。音声不自然になります。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω~16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。

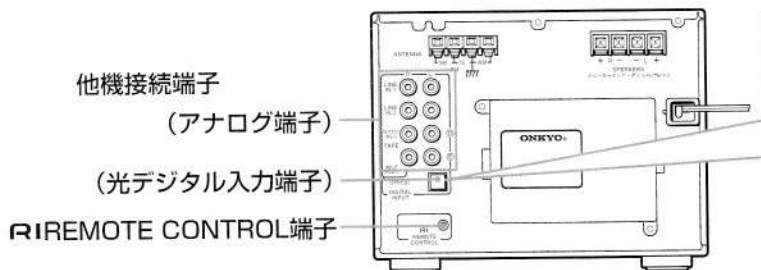


外部機器を接続する

⊙ 設置の際は本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。(※「■ 放熱を妨げない」、5ページ)

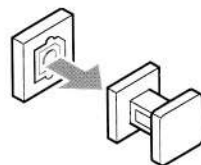
！ヒント

接続した外部機器に合わせ、入力名称表示を変更することもできます。(※ 45ページ)



光デジタル入力端子の保護用キャップについて

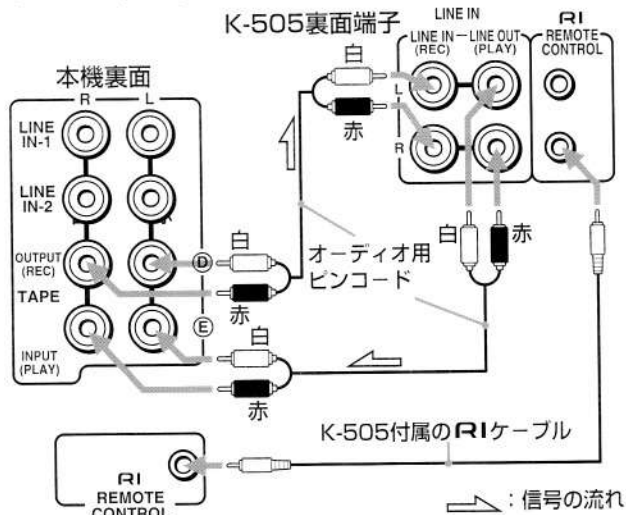
接続時は取りはずして、大切に保管してください。端子を使用しない場合は必ずキャップを元どおりに取り付けてください。



接続する

◆ カセットテープデッキとの接続例

下図は別売ステレオカセットテープデッキ、K-505との接続例です。他のカセットテープデッキと接続するときも、本機のTAPE OUTPUT (REC)とINPUT (PLAY)端子をそれぞれ他機のLINE IN (REC)とLINE OUT (PLAY)に接続してください。

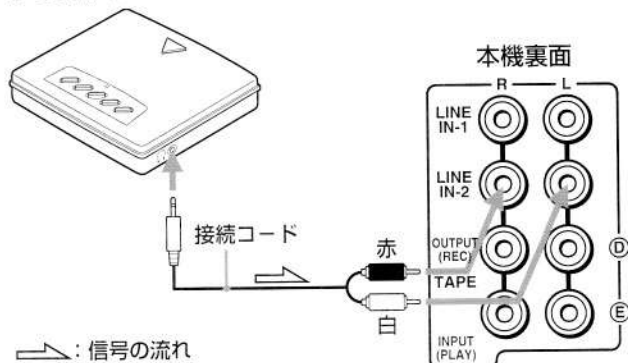


K-505とRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

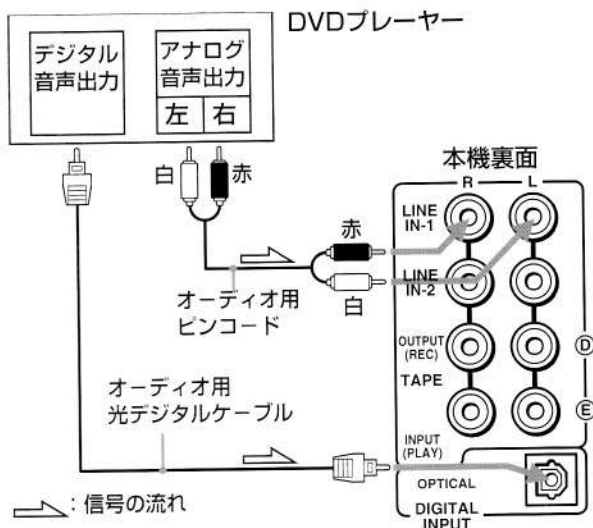
- 本機付属のリモコンでK-505も操作できます。
 - 本機電源とK-505の電源が連動します。
 - K-505の再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
 - システム録音操作ができます。(※ 39ページ)
- オンキョー製カセットテープデッキ、K-185II、K-185Xと接続するときもRI接続をしてください。あわせて39ページのご注意もお読みください。

◆ ポータブルMDとのアナログ接続例

ポータブルMD側の接続については、ポータブルMDの取扱説明書を参照ください。



◆ DVDプレーヤーとの接続例



光デジタル入力端子について

デジタル (OPTICAL) 出力端子付きのCDプレーヤーや、CSチューナー、DATなどと接続してデジタル入力録音ができます。オーディオ用光デジタルケーブルで接続してください。

ライン LINE-1、2 端子について

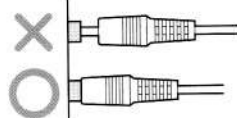
この端子にはレーザーディスク、CSチューナー、BSチューナー、ビデオなどの音声出力を接続することができます。接続する機器の出力 (OUTPUT) 端子を接続してください。

！ヒント

アナログ端子は、LINE-1、LINE-2のどちらに接続してもかまいません。

ご注意

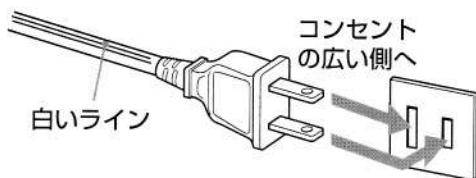
- デジタルコピーには制限があります。(※ 53ページ)
- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。



→ 次ページへ続く

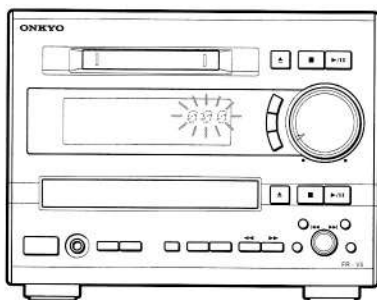
電源コードを接続するのは、他のすべての接続が終わってから！

電源コードを接続する

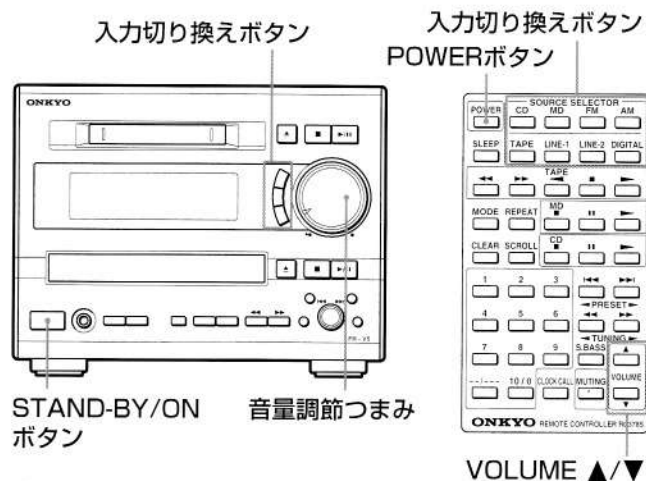


電源コードはより良い音で聞いていただくために、極性管理がされています。電源コードの白いライン側を家庭用の電源コンセントの溝の広いほうに合わせて差し込んでください。

電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態になります。



操作の前に共通の基本操作を理解する



◆ 電源を入れる

本体の ^{スタンバイ}STAND-BY/ON ボタン、リモコンの ^{オン}POWER ボタンを押します。電源を切るときは同じボタンをもう一度押します。

◆ 入力を切り換える

本機の入力には CD、MD、FM、AM 放送、接続した各外部機器 (TAPE、LINE-1、LINE-2、DIGITAL) があります。入力を選択するには対応する入力切り換えボタンを押してください。

本体の入力切り換えボタン

CD/MD	押すごとに、CD と MD が切り換わります。
TUNER	押すごとに、AM と FM が切り換わります。
TAPE/LINE	押すごとに ^{テープ} TAPE、 ^{ライン1} LINE-1、 ^{ライン2} LINE-2、 ^{デジタル} DIGITAL が切り換わります。

リモコンの入力切り換え (SOURCE SELECTOR) ボタン

リモコンでは以下の各ボタンを押すと、1 回で入力を切り換えることができます。
CD、MD、FM、AM、^{テープ}TAPE、^{ライン1}LINE-1、^{ライン2}LINE-2、^{デジタル}DIGITAL ボタン

ご注意

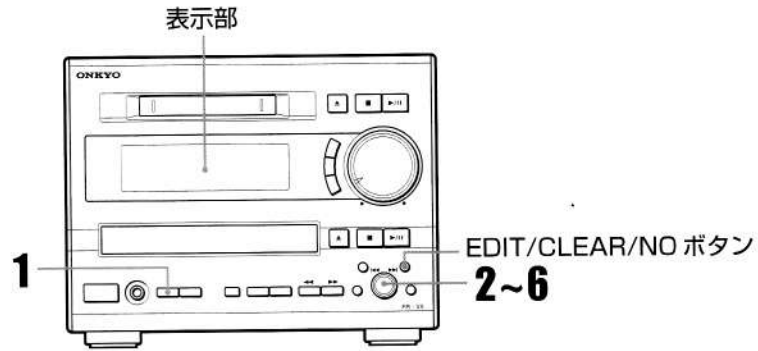
^{デジタル}「D.In Unlock」が表示されたときや、^{デジタル}DIGITAL 表示が点滅しているときは、^{デジタル}デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

◆ 音量を調節する

本体の音量調節つまみを回すか、リモコンの ^{ボリューム}VOLUME ▲/▼ を押します。

曜日と現在時刻を設定する

準備する



1 タイマープログラム
TIMER PROGRAM ボタンを
(くり返し) 押して、「Clock」
を表示する

2 マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを押す

曜日入力に入ります。

3 マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを回して
今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4 マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを押し
て、曜日を確定する

時間入力に入ります。

5 マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを回し
て、時刻をあわせる

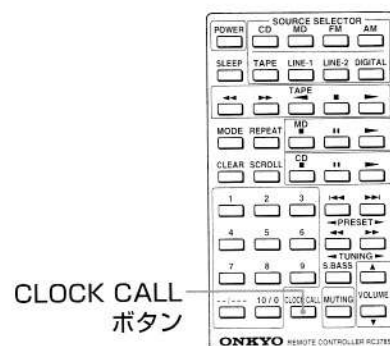
6 マルチジョグ
時報に合わせて MULTI JOG ダ
イヤルを押す

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時計合わせを中断するときには
EDIT/CLEAR/NO ボタンを押す。

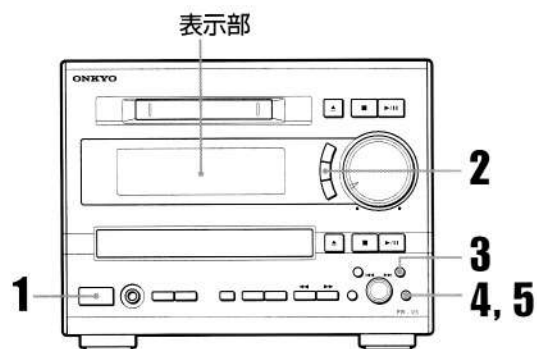
◆時刻、曜日を確かめる

クロック コール
CLOCK CALL ボタンを押すと、表示部の表示が曜日
と時刻表示に切り換わります。もう一度押すと、
元の表示に戻ります。



FM局を自動で登録するーオートプリセット

登録すれば放送局を周波数で合わせなくてもチャンネル選局できます。受信から登録まで、一括して自動（オート）でおこなえます。AM局はオートプリセットできませんので、次ページをご覧ください。



予備知識

- プリセットは、FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。
- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットをすると前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

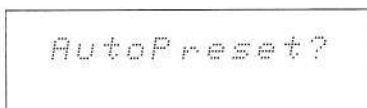
1 スタンバイ オン
STAND-BY/ON ボタンを押して、電源を入れる



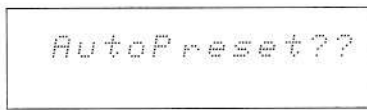
2 チューナー
TUNER ボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示する



3 エディット クリア ノー
EDIT/CLEAR/NO ボタンを（くり返し）押して、「AutoPreset?」を表示する



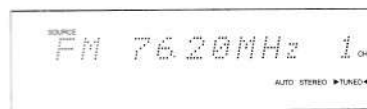
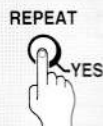
4 リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押す



再確認のため、「オートプリセット??AutoPreset??」が表示されます。

オートプリセットをやめるときは エディット クリア ノー EDIT/CLEAR/NO ボタンを押してください。

5 リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押す



オートプリセットが始まります。周波数の低い局からさがし始め、プリセットチャンネル番号1から順に自動登録していきます。

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセットチャンネルは削除してください。（46ページ）

オートプリセットがうまくいかないときは

- アンテナ接続をもう一度確認してください。（※ 8ページ）
- アンテナの設置位置を確認してください。（※ 20ページ）

停電になったり、電源コードを抜いたときは

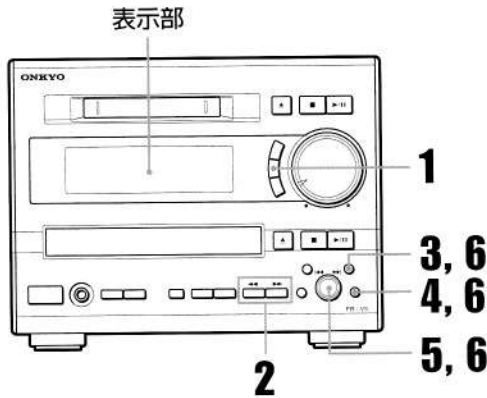
メモリーは通常、本機の電源コードをはずしてから2日間は保持されます。万一プリセットチャンネルが消えてしまった場合は、オートプリセットを再度おこなってください。

◆ プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など、名前をつける。 ※ 30ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ※ 46ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ※ 47ページ

AM、FM局を1局ずつ登録する—プリセットライト

AM局は周波数をマニュアルで合わせて、1局ずつプリセットチャンネルに登録します。
(FM局もオートプリセットの他に、このやり方で登録することもできます。)



予備知識

- プリセットは、FM、AM合わせて30まで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されるので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- プリセットライトの場合は、任意のチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

準備する

操作の前に

電源を入れてください。

1

TUNER



チューナー
TUNER ボタンを (くり返し) 押して、「AM」を表示する

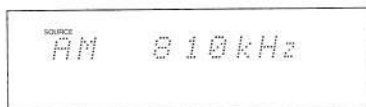


FM局を登録するときには「FM」を表示します。

2



チューニング
TUNING ◀/▶ ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示する



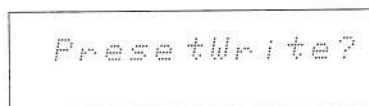
ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3

EDIT / CLEAR



エディット クリア ノー
EDIT/CLEAR/NO ボタンを (くり返し) 押して、「Preset Write?」を表示する

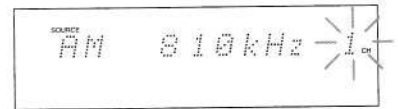


4

REPEAT



リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押す

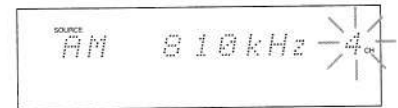


登録するチャンネルが表示されます。中断するときはEDIT/CLEAR/NO ボタンを押します。

5



別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOG ダイヤルを回す



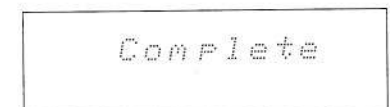
6



マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを押して決定する

リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押しても同じです。

- 「Complete」 (完了) と表示されたときは



放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

→ 次ページへ続く

AM、FM局を1局ずつ登録する—プリセットライト (つづき)

オーバーライト

- 「Overwrite?」 (書き換えますか?) と表示されたときは

Overwrite? 4.

選んだチャンネル番号は登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、REPEAT/YES ボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/CLEAR/NO ボタンを押します。

メモリー フル

- 「Memory Full」 と表示されたときは

Memory Full

FM、AM 合わせてすでに 30 チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから (46 ページ)、再度登録してください。

REPEAT



EDIT / CLEAR



7

次を登録するときは、手順 2～6 を繰り返す

ここもご覧ください

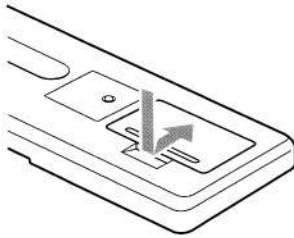
「停電になったり、電源コードを抜いたときは」 (12ページ)

「プリセットしたあとにこんなこともできます」 (12ページ)

リモコンを準備する

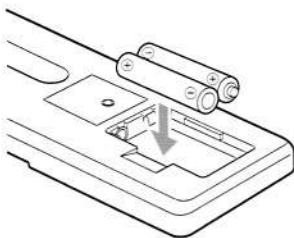
◆ 乾電池を入れる

①



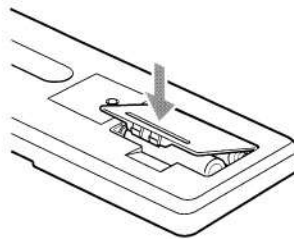
カバーを矢印の方向に押し上げてはずす。

②



中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を+（プラス）と-（マイナス）を間違えないように入れる。

③



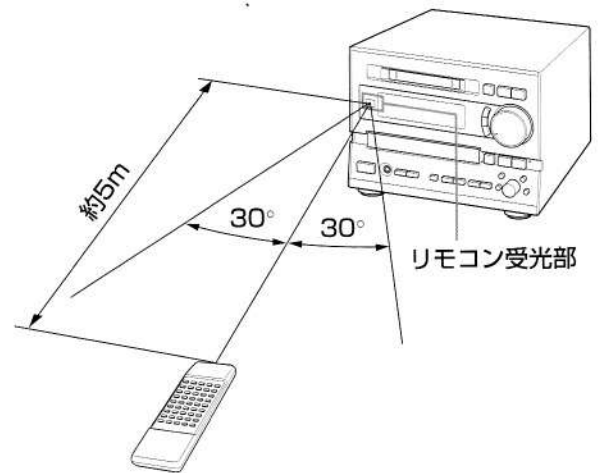
カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

◆ リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



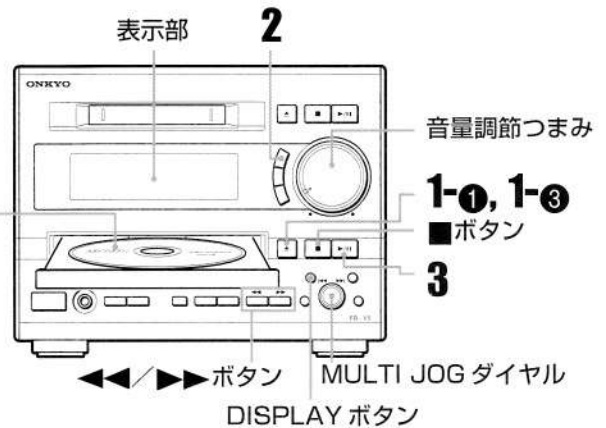
ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

準備する

CD を聞く

1-② プリント面を上にしてトレイの上に置く。
シングルCD のときは、内側のくぼみの中に置く。



1



CD をセットする

- ① ▲(開閉) ボタンを押して、トレイを開く
- ② CD をトレイに置く
- ③ ▲(開閉) ボタンを押して、トレイを閉じる

! ヒント

電源が入っていないときは、自動的に電源が入ります。

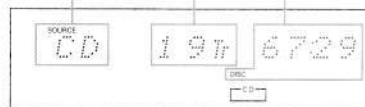
2



入力を CD にする

CD/MD ボタンを押すたびに、CD と MD が交互に切り換わります。

<表示部の CD 情報>
入力 総曲数 総再生時間



! ヒント

※「表示部の情報を切り換える」(次ページ)

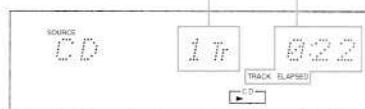
3



▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押す

再生が始まります。
CD を最後まで再生すると停止します。

再生中の曲番 経過時間



一時停止する

CD の▶/|| ボタンを押します。
表示部に||表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

CD の■ ボタンを押す。

CD を取り出す

CD の▲ ボタンを押してトレイを開けます。

音量を調節する

音量調節つまみを回します。

◆ 聞きたい曲を選ぶ

- **MULTI JOG**ダイヤルを少し左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前にもどります。(再生中)

右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

- 停止中は **MULTI JOG**ダイヤルを押すと、再生が始まります。

ご注意

曲数の多いCDの場合、再生が始まるまでに少し時間がかかることがあります。

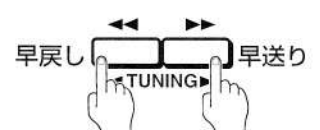


- 再生中、停止中に **MULTI JOG**ダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。



◆ 早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



◆表示部の情報を切り換えるー本体操作のみ

ディスプレイ
本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。



ディスク名が長いときは

リモコンの SCROLL ボタンを押すと、表示を移動することができます。

基本機能ですべて楽しい

◆リモコンで操作する

CDを選ぶ

長いディスク名をスクロール表示する

数字ボタン

選曲して再生する

--/-- は入力する位の指定、10/0 は10もしくは0を表します。

例) 曲番 押すボタン

8	[8]
10	[10/0]
34	[--/--]、[3]、[4]
103	[--/--]、[--/--]、[1]、[0]、[3]

再生を止める

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じボタンまたは、CDの▶ボタンを押します。

再生する

CDがセットされていれば、電源が入ってなくても自動的に電源が入り、再生が始まります。

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中、一時停止中に◀◀ボタンを1回押すと聞いている曲の頭にもどり、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
- ▶▶ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

音量を調節する

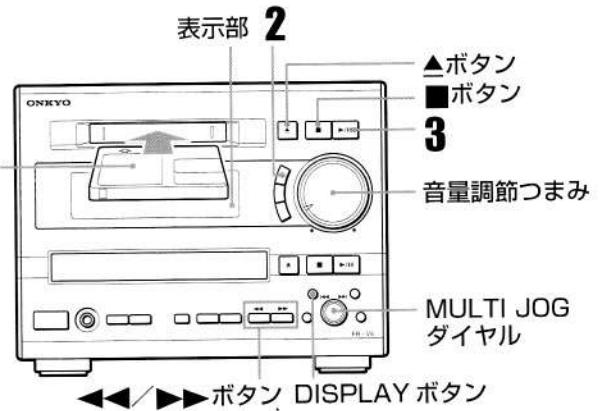
VOLUME ▲ボタンを押すと音が大きく、▼ボタンを押すと小さくなります。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

MD を聞く

- 1 ラベル面を上にして、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。軽く押すと自動的に引き込まれます。



1

MD をセットする

再生専用か、録音済みの MD を選んでください。

！ヒント

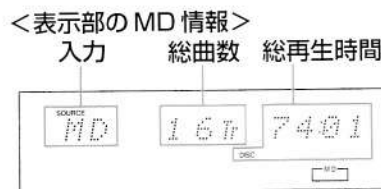
MD を挿入すると、自動的に電源が入ります。

2



入力を MD にする

CD/MD ボタンを押すたびに、CD と MD が交互に切り換わります。



！ヒント

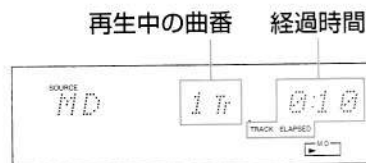
※ 「表示部の情報を切り換える」(次ページ)

3



▶/|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す

再生が始まります。録音部分の再生が終わったら停止します。



一時停止する

MD の ▶/|| ボタンを押します。表示部に || 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

MD の ■ ボタンを押す。

MD を取り出す

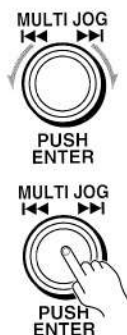
MD の ▲ ボタンを押す。

音量を調節する

音量調節つまみを回します。

◆ 聞きたい曲を選ぶ

- MULTI JOG ダイヤルを少し左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと 1 曲ずつ前にもどります。(再生中) 右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。停止中は MULTI JOG ダイヤルを押すと、再生が始まります。

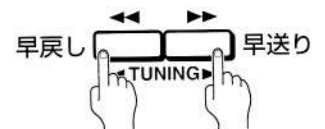


- 再生中、停止中に MULTI JOG ダイヤルを押すと、1 曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。



◆ 早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



お知らせ

一時停止中は音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

◆表示部の情報を切り換える—本体操作のみ

ディスプレイ
本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中



再生中、一時停止中



*1 再生専用ディスクのときは表示しません。

*2 ディスクや曲に名前がついていないときは曲番のみが表示されます。

*3 「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」
(30 ページ)

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンの SCROLL ボタンを押すと、表示を移動することができます。

*3 録音していない MD のときは、「MD Blank Disc」または、「MD No Disc」が表示されます。

◆リモコンで操作する

MDを選ぶ

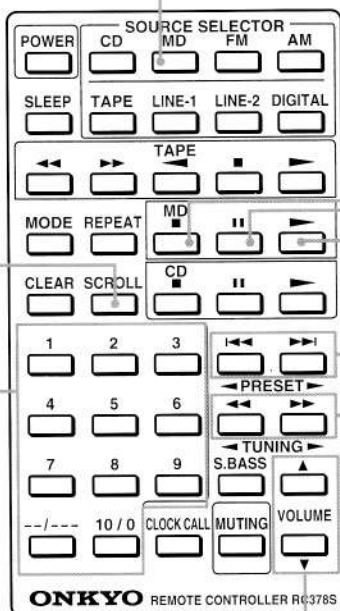
長いディスク名や曲名をスクロール表示する

数字ボタン

選曲して再生する

--/-- は入力する位の指定、10/0 は 10 もしくは 0 を表します。

例)	曲番	押すボタン
8		[8]
10		[10/0]
34		--/--、[3]、[4]
103		--/--、--/--、[1]、 [0]、[3]



再生を止める

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じボタンまたは、MD の▶ ボタンを押します。

再生する

MD がセットされていれば、電源が入ってなくても自動的に電源が入り、再生が始まります。

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中、一時停止中に◀◀ ボタンを 1 回押すと聞いている曲の頭にもどり、2 回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに 1 つ前の曲になります。
- ▶▶ ボタンを押すと、押すたびに 1 つ後ろの曲になります。

音量を調節する

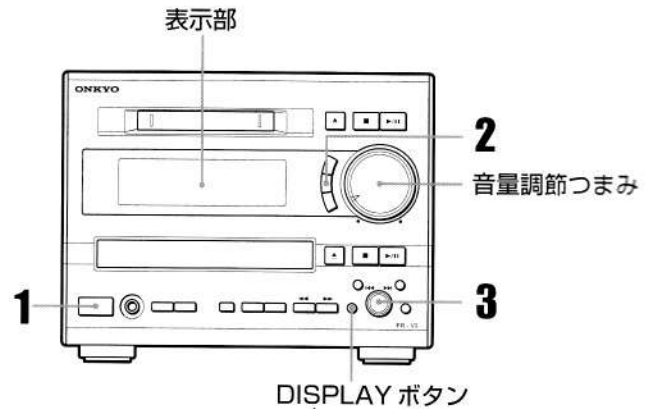
VOLUME ▲ ボタンを押すと音が大きく、▼ ボタンを押すと小さくなります。

早戻し／早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。一時停止中は音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

FM / AM 放送を聞く

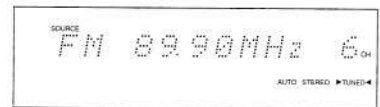
あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。(P. 12、13ページ)



1 STAND-BY / ON 電源を入れる

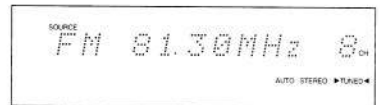
2 TUNER 入力をFMまたはAMにする

TUNER ボタンを押すたびに、FMとAMが交互に切り換わります。
前回最後に選択したチャンネルが呼び出されます。



3 マルチジョグ MULTI JOGダイヤルを回すか、ダイヤルを(くり返し)押ししてプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

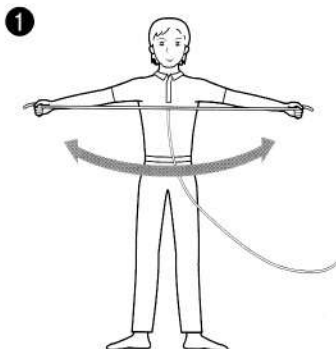


音量を調節する
音量調節つまみを回します。

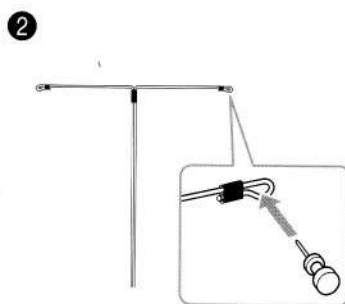
◆アンテナの調整をする

FM アンテナを調整して固定する

FM 放送を聞きながら FM アンテナの調整をします。



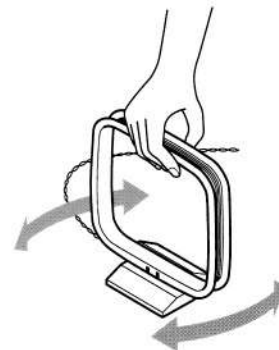
アンテナをT字形に開いて受信状態が良好になるように設置場所や方向をみつける。



1の状態が固定されるように、画びょうなどでアンテナの先を止める。

AM アンテナを調整する

AM 放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。



◆ 表示部の情報を切り換えるー本体操作のみ

ディスプレイ
本体の DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。



- * プリセットチャンネルに名前がついていないときは、「No Name」が表示されます。
- ※ 「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（30ページ）

◆ リモコンで操作する

FMを選ぶ

AMを選ぶ

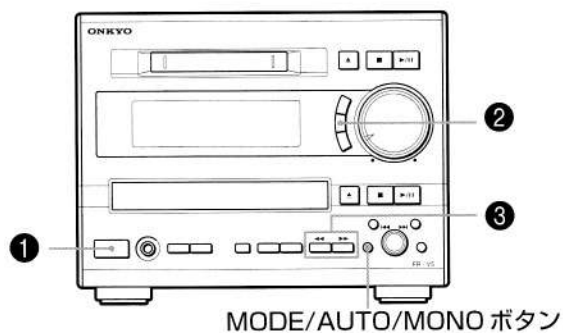
プリセットチャンネルを選ぶ
プリセット ◀ ボタンを押すと前のチャンネルを、▶ ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

マニュアルで周波数を合わせる
下記参照。

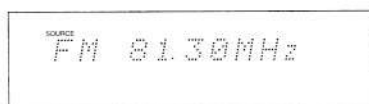
音量を調節する
ボリューム ▲ ボタンを押すと音が大きく、▼ ボタンを押すと小さくなります。

基本機能ですぐ楽しい

◆ マニュアルで周波数を合わせるときは

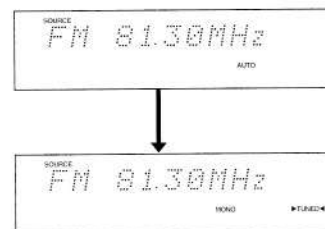


- ① 電源を入れる。
- ② 入力を FM か AM にする。
- ③ チューニング TUNING ◀/▶ を押して、表示部をみながら周波数を合わせる。



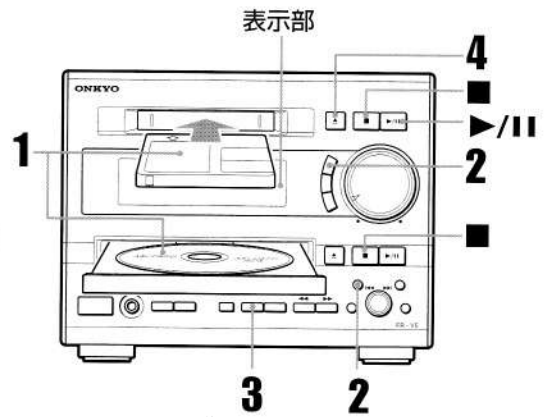
FM 放送を受信しにくいときは

FM ステレオ放送を受信すると ステレオ STEREO 表示が点灯します。ただし電波の弱い所や雑音の多い所では点灯しませんので、この場合は モード MODE/AUTO/オート MONO を押して、モノラル受信してください。雑音や音切れを軽減できます。オート AUTO にもどすときは、同じボタンを再度押します。



CD ダビング機能 を使う（基本編）

- デジタルで録音されます。
- 途中で録音してある MD の場合、MD の最後の曲のあとに録音されます。曲番も、MD の最後の曲番のあとから順についていきます。



1

CD と MD をセットする

- ☞ 「CD を聞く」の手順 1 (16 ページ)
 - ☞ 「MD を聞く」の手順 1 (18 ページ)
- MD は録音用を選んでください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

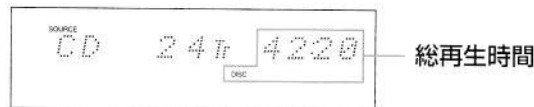
お問い合わせ先：
(社) 私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

2

録音時間を確認する



- 1 CD/MD ボタンを（くり返し）押して、CD を表示する
- 2 ディスクの総再生時間を確認する
総再生時間が表示されていないときは ディスプレイ DISPLAY ボタンを（くり返し）押してください。



- 3 CD/MD ボタンを押して、MD を表示する
- 4 MD の録音可能な残り時間を確認する
録音可能時間が表示されていないときは、ディスプレイ DISPLAY ボタンを（くり返し）押してください。



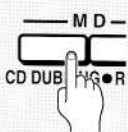
ダビングを止めるには

CD の再生が終わるか、MD の最後まで録音すると自動的に録音は止まります。途中で止めるときは、MD または CD の ■ ボタンを押します。

ダビングできないときは

- 「Cannot Rec」と表示される
再生用の MD です。録音用と交換してください。
- 「Protected」と表示される
MD が録音禁止になっています。
☞ 「ミニディスク (MD) について」(54 ページ)
- 「Disc Full」と表示されるときは
MD に録音の空きがありません。新しい MD と交換してください。

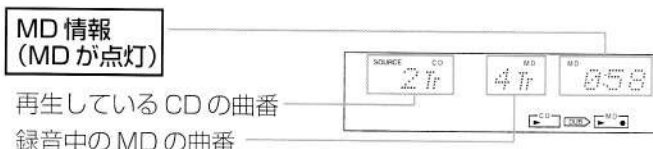
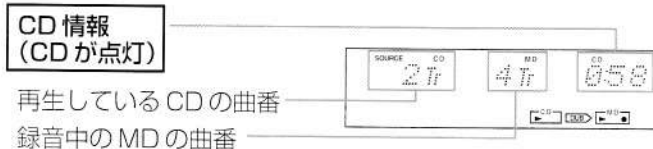
3



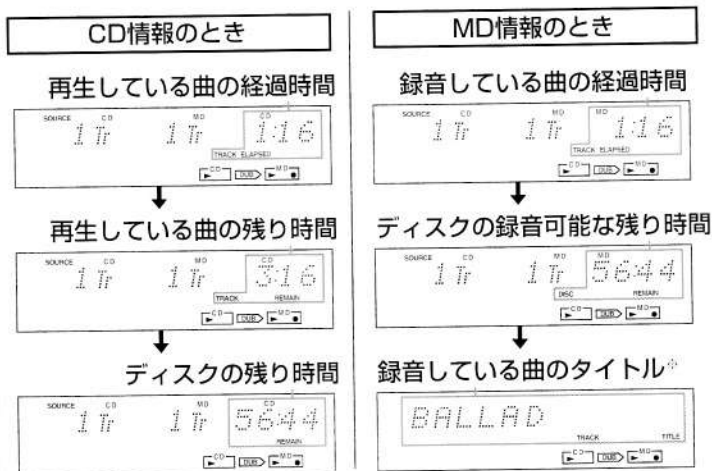
ダビング CD DUBBING ボタンを押して、ダビングを始める

ダビング中に表示情報を切り換える

- CD/MD ボタンを押すと、CD と MD の表示切り換えができます。



- CD / MD 表示切り換え後、DISPLAY ボタンを押すと以下のよう
に切り換わります。



* 名前がないときは表示されません。

- ※ 「CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける」(30 ページ)
- ※ 「CD のディスク名のコピーについて」(下記)

！ヒント

- 録音レベルの調整 (※ 25 ページ) は必要ありません。
- 本機 CD から MD へのダビングの場合は、レベルシンクのオン、オフ (※ 25 ページ) に関係なく自動的に曲番が記録されます。

CDダビング中のご注意

- 入力切り換えはできません。
- ▶/|| (再生 / 一時停止)、▲ (取り出し) などのボタンははたらきません。

4



録音が終わったら、▲(取り出し) ボタンを押す

MD に録音内容が記録され、録音が完了します。そのあと MD が排出されます。



トック TOC 表示が点灯、点滅しているときは

曲番などの情報は、MD を取り出す際やスタンバイ状態になるときに MD の目次部分 (TOC = Table Of Contents) に書き込まれ、この時点で録音が完了します。以下のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。正しい記録ができなくなることがあります。(右記の「停電になったときは」も参照してください。)

- TOC 表示が点灯しているとき
MD の TOC に書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。
 - TOC 表示が点滅しているとき
MD に情報を書き込んでいる最中です。
- 録音が終わったら、そのつど MD を取り出して TOC 書き込みを行うことをおすすめします。

MD の残り時間がなくなり、曲が途中で切れてしまったときは

途中で切れた曲は自動的に消去されます。

録音結果を確かめる

録音終了後、または ■ ボタンで録音を停止したあとで、本体 MD の ▶/|| ボタンまたはリモコンの MD の ▶ ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

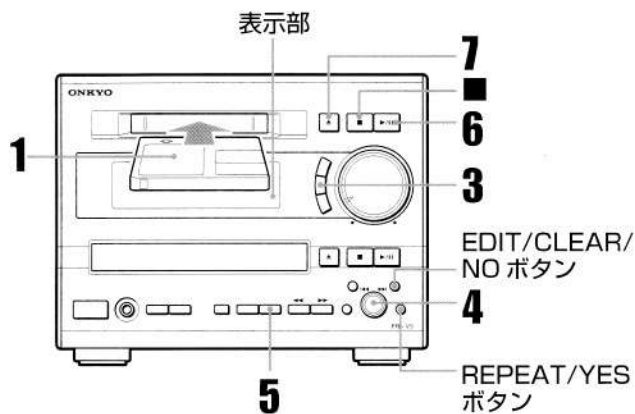
停電になったときは

トック TOC 表示が点灯、点滅中に停電になっても、停電前の記録内容は保持されます。ただし、保持される時間は 1 時間程度です。また誤って電源コードをぬいてしまった場合もすぐに電源コードを接続して電源を入れてください。

CD のディスク名のコピーについて

- CD にディスク名をつけていると (30 ページ)、CD ダビング時に CD のディスク名が MD のディスク名としてコピーされます。(ただし、まったく録音されていず、タイトルもついていない MD へのダビング時に限ります。)
- CD を 1Tr (1 曲) モードで CD ダビングしたとき (※ 32 ページ) は、CD のディスク名が曲名としてコピーされます。
- ディスク名や曲名は、表示部の表示切り換えで確認することができます。(※ 17、19 ページ)

FM、AM 放送を MD に録音する



1

MD をセットする

☞ 18 ページ、手順 1
MD は録音用を選んでください。

2

MD の録音可能時間を確認する

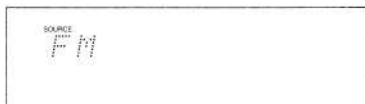
☞ 22 ページ、手順 2-③、④

3

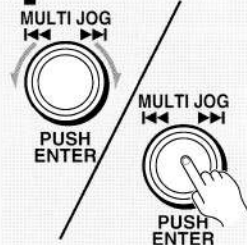
TUNER



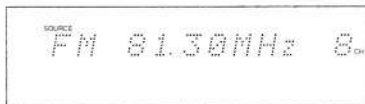
入力を、「FM」または「AM」にする



4



マルチジョグ MULTI JOG ダイアルを回すか、ダイアルを（くり返し）押してプリセットチャンネルを選ぶ



5



● REC ボタンを押して、録音待機状態にする

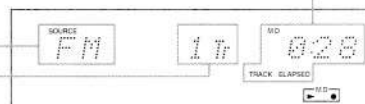


6



MD の▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押して、録音を始める

録音している入力
録音中の曲番



録音経過時間

録音中に曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●REC ボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音待機状態にならないときは

☞ 「ダビングできないときは」（22 ページ）

録音レベルを調節するときは

☞ 次ページ

レベルシンクのオン、オフをするときは

☞ 「曲番をつけるーレベルシンク」（次ページ）

！ヒント

録音中、DISPLAY ボタンで MD 情報を切り換えることができます。（☞ 23 ページ）

録音を止めるには

MD の最後まで録音すると自動的に止まります。途中で止めるときは MD の■ボタンを押します。

一時停止するには

MD の▶/|| ボタンを押します。表示部に||表示が点灯します。もう一度押しと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

7



録音が終わったら、MD 取り出しボタンを押す

「MD Writing」が点灯して MD に録音内容が記録されたあと、MD が排出されます。

トック
TOC 表示が点灯、点滅しているときは

23 ページ

録音結果を確かめる

23 ページ

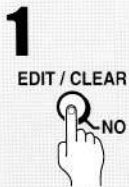
◆曲番をつけるーレベルシンク

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。(ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。)好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、前ページ手順6の「録音中に曲番を好きなところにつける」を行います。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。(オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。)

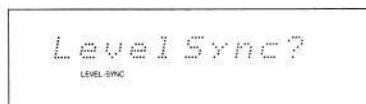
LEVEL-SYNC 表示



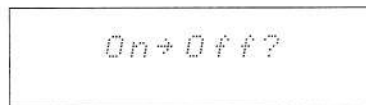
オン、オフを切り換えるときは、録音待機中、または録音中に以下の操作をします。(途中、変更するのをやめるときは、EDIT/CLEAR/NO ボタンを押してください。)



EDIT/CLEAR/NO ボタンを(くり返し)押して、「Level Sync?」を表示する



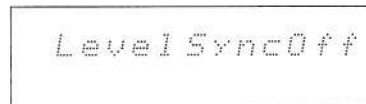
REPEAT/YES ボタンを押す



「On -> Off?」、または「Off -> On?」が表示されます。



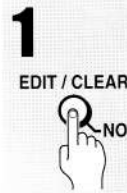
REPEAT/YES ボタンを押す



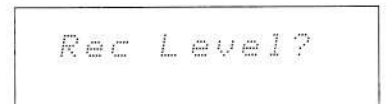
オフになったときは「Level Sync Off」が、オンになったときは「Level Sync On」が表示されます。

◆録音レベルを調節するとき

- 録音レベルが適当でないときは録音レベルを調整してください。
- 録音中、録音待機中に以下の操作をします。



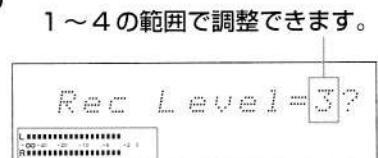
EDIT/CLEAR/NO ボタンを(くり返し)押して、「Rec Level?」(録音レベル)を表示する



REPEAT/YES ボタンを押す



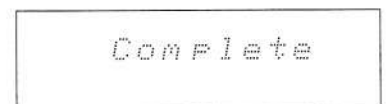
MULTI JOG ダイヤルを回して録音レベル (Rec Level) を調整する



1 ~ 4 の範囲で調整できます。入力レベルが一番高いときに、-6 ~ -2 (dB) の間で点灯するように調整する。



MULTI JOG ダイヤルを押す



「Complete」(完了)が表示されます。REPEAT/YES ボタンを押しても同じです。

基本機能ですべて楽しい

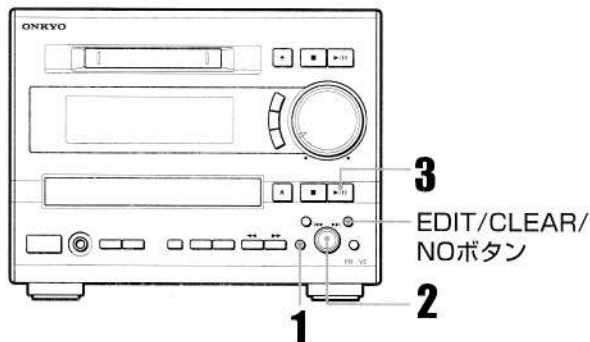
CD / MD のいろいろな再生

基本編の再生以外に、5つのモードとその組み合わせによる様々な再生をお楽しみいただけます。

CDまたは、再生専用か録音済みのMDを本体にセットしておいてください。CDもMDも同じ手順でできます。

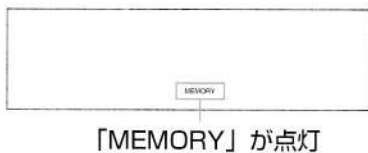
◆ MEMORY 再生

曲を指定し (CD、MDそれぞれ25曲まで)、その順序で再生します。



入力がCD/MDで停止中に

1 **MODE/AUTO/MONO** ボタンを (くり返し) 押し、**「MEMORY」** を表示する

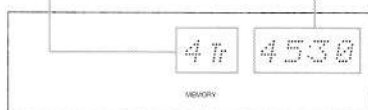


2 **MULTI JOG** ダイアルを回して曲を選び、ダイアルを押しして確定する



次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番 予約曲の合計再生時間



間違えて予約した曲を取り消すには

EDIT/CLEAR/NOボタンを (くり返し) 押し、新しく入力したものから取り消されていきます。

お知らせ

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になり、「---:--」と表示されますが、MEMORY再生に支障はありません。

CD : 99分59秒

MD : 255分59秒

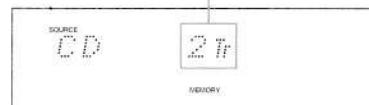
3 ▶/|| ボタンを押す



MEMORY再生が始まります。

再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番



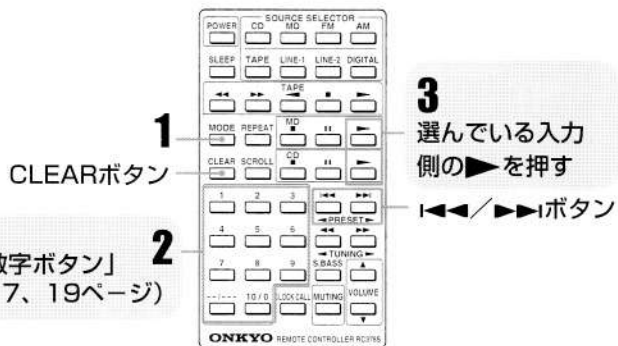
予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、EDIT/CLEAR/NOボタンを押すと、押すごとに最後の予約曲から取り消されます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

予約した曲のなかで選曲する

MULTI JOGダイヤルを回すか、(くり返し) 押しと、予約した曲順での選曲ができます。

リモコンで操作する



予約した曲を取り消すには

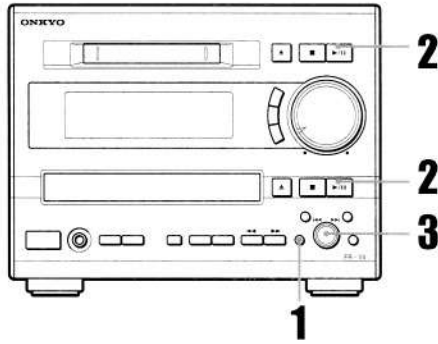
- MEMORY再生モードの停止中に、CLEARボタンを (くり返し) 押しと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

予約した曲のなかで選曲する

▶/|| ボタンを押すと予約した曲の中から選曲ができます。

◆ ワンドラック 1TR (1曲) 再生

1曲のみを選んで再生します。



CD/MDの再生中、一時停止中に

モード オート モノ
MODE/AUTO/MONO ボタンを (くり返し) 押し
て、表示部に「1TR」を点灯させます。

入力がCD/MDで停止中に

1 MODE オート モノ
MODE/AUTO/MONO ボタン
を (くり返し) 押し、
「1TR」を表示する



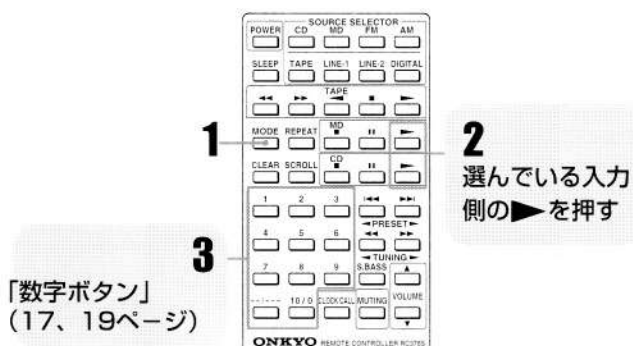
2 ▶/|| ボタンを押す
ワンドラック
1TR (1曲) 再生が始まります。



3 1曲目以外の曲を選ぶときは、
MULTI JOG ダイヤルを回して
曲を選ぶ

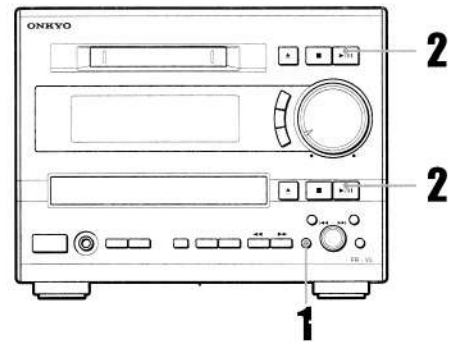


リモコンで操作する



◆ ランダム RANDOM 再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生し
ます。

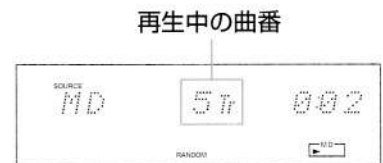


入力がCD/MDで停止中に

1 MODE オート モノ
MODE/AUTO/MONO ボタン
を (くり返し) 押し、
「RANDOM」を表示する



2 選んでる入力 (CD または MD)
の▶/|| ボタンを押す
ランダム
RANDOM 再生が始まります。



リモコンで操作する



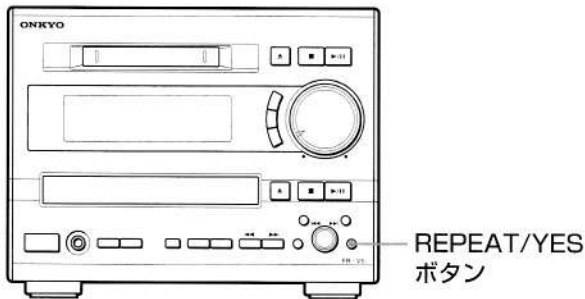
→ 次ページへ続く

いろいろな機能を使ってみる

CD / MD のいろいろな再生 (つづき)

◆ REPEAT / CHAIN REPEAT 再生

- REPEAT 再生はCD、MD のどちらかをくり返し再生します。
CHAIN REPEAT 再生はCD、MD を交互にくり返して再生します。
- 入力がCDまたはMDのときに、再生、一時停止、停止中に関係なくこのモードを設定することができます。
- 1 TR (1 曲) 再生、MEMORY 再生、RANDOM 再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。「CHAIN REPEAT」のときは、CD、MD 別々にそれぞれの再生モードと組み合わせられます。



REPEAT / YES ボタンを (くり返し) 押し、**「REPEAT」** または **「CHAIN REPEAT」** 点灯させる



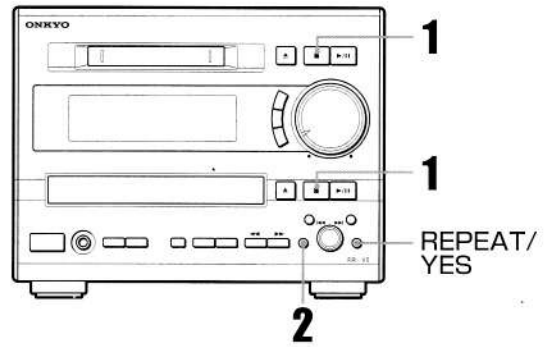
「REPEAT」または「CHAIN REPEAT」が点灯

REPEAT / CHAIN REPEAT 再生モードになります。

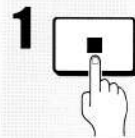
リモコンで操作する



◆ 通常再生にもどす



1 TR (1 曲)、MEMORY、RANDOM 再生を取り消す



1 CD または MD の ■ ボタンを押して再生を止める



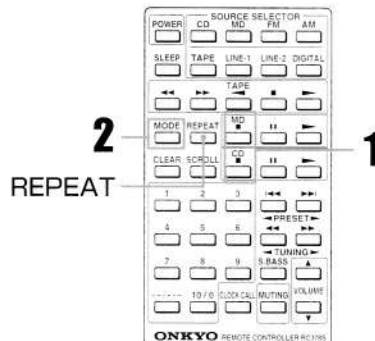
MODE/AUTO/MONO ボタンを (くり返し) 押し、**「1 TR」**、**「MEMORY」**、**「RANDOM」** のいずれも表示されていない状態にする

REPEAT、CHAIN REPEAT 再生を取り消す



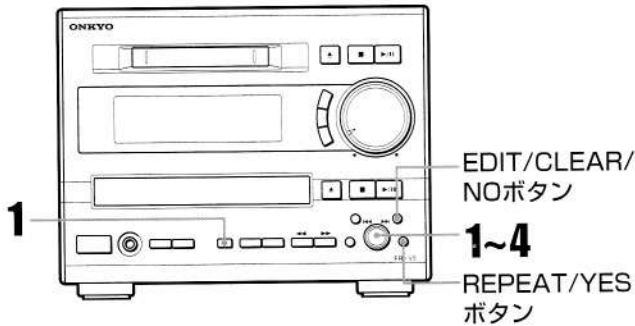
REPEAT/YES ボタンを (くり返し) 押し、**「REPEAT」**、**「CHAIN REPEAT」** のどちらも表示されていない状態にする

リモコンで操作する



音質を調整する

低音、高音の調整と、重低音の強調ができます。



1



トーン
バス
TONE ボタンを押して、「Bass」(低音域調整)を表示し、MULTI JOG ダイヤルを回して低音を調整する

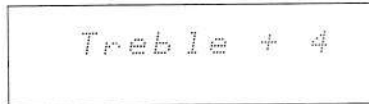


-10~+10の間で2単位で調整できます。

2



マルチジョグ
トレブル
MULTI JOG ダイヤルを押して、「Treble」(高音域調整)を表示し、ダイヤルを回して高音を調整する

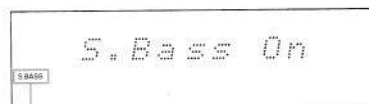


-10~+10の間で2単位で調整できます。

3



マルチジョグ
スーパーバス
MULTI JOG ダイヤルを押して、「S. Bass」(重低音強調)を表示し、ダイヤルを回して「On」か「Off」を選ぶ



オンのときは「S.BASS」が点灯

右に回すとオン(重低音強調)に、左に回すとオフになります。

4



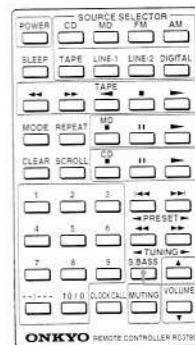
マルチジョグ
MULTI JOG ダイヤルを押す
通常表示に戻ります。

ヒント

- TONEボタンをくり返し押しして目的の項目を選び、MULTI JOGダイヤルを回して調整することもできます。
- 目的の項目が終わったら、REPEAT/YESまたはEDIT/CLEAR/NOボタンを押すと中断することができます。中断しても変更した設定はキャンセルされません。

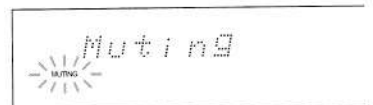
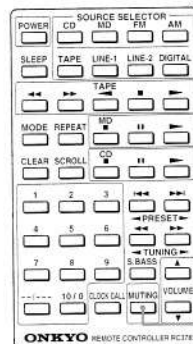
リモコンで操作する

リモコンでは重低音の強調のみ操作できます。



S. BASS ボタン
押すたびに、オン、オフの設定が切り換わります。

◆ 音量を一時的に小さくする — ミューティング



MUTINGボタン

ミューティング
MUTING ボタンを押すと MUTING 表示が点滅します。もう一度押すと、解除されます。

以下のときも解除されます。

- リモコンの VOLUME ▲/▼ ボタンを押したとき
- 一度電源を切ってから電源を入れたとき
- TONE ボタンを押したとき

いろいろな機能を使ってみる

CD、MD、プリセットチャンネルに名前をつける

CDにはディスク名、MDにはディスク名や曲名、FMやAMのプリセットチャンネルにはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけ、表示部で確認することができます。

◆ CDにディスク名をつける

CDをセットし、入力をCDにして「文字を入力する」(右項)を行います。

- 最大28文字の名前がつけられます。
- 24枚分のCDにディスク名をつけられます。(本体のメモリーに記憶されます。)
- CDをMDにCDダビングするときCDのディスク名もMDにコピーされます。(※ 23ページ)

◆ MDにディスク名をつける

入力がMDで、停止中に「文字を入力する」(右項)を行います。

- アルファベットのみの場合最大100文字までの名前がつけられます。
- MDに記録されるので特に枚数制限はありません。
- 録音禁止を解除してしているMDをセットしてください。

ご注意

- 録音禁止状態のMDや、再生専用MDには名前がつけられません。(※ 54ページ)
- MDの場合、特定の曲を選択していると、曲名の入力になってしまいます。このときは、MDの■ボタンを押してから再度始めから行ってください。
- MDのTOCの書き込みはMDを取り出すときに行われます。MDを取り出す前に電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。(※ 「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、23ページ)

◆ MDに曲名をつける

曲を選び、「文字を入力する」(右項)を行います。再生している曲にも名前が付けられます。

- アルファベットのみの場合最大100文字までの名前がつけられます。
- MDに記録されるので特に枚数制限はありません。
- 録音禁止を解除してしているMDをセットしてください。

ご注意

- 録音禁止状態のMDや、再生専用MDには名前がつけられません。(※ 54ページ)
- MDのTOCの書き込みはMDを取り出すときに行われます。MDを取り出す前に電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。(※ 「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、23ページ)

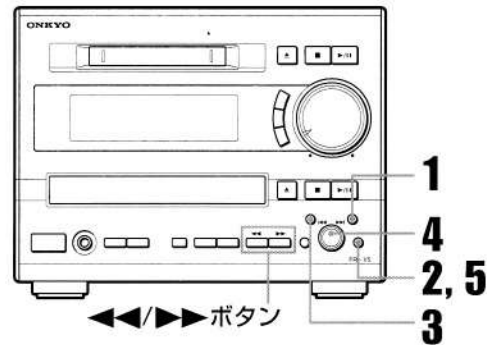
◆ プリセットチャンネルに名前をつける

FMまたはAMのプリセットチャンネルを選び、「文字を入力する」(右項)を行います。

8文字までの名前がつけられます。

◆ 文字を入力する

CDのディスク名、MDのディスク名や曲名、FMやAMのプリセットチャンネルの名前、いずれも共通の操作で名前を入力することができます。



- 1** エディット クリア ノー
EDIT/CLEAR/NO ボタンを
イン? (くり返し) 押して、「Name
ネーム In?」を表示する



- 2** リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押す
文字入力モードに入ります。
名前の入力をやめるときは エディット
EDIT/CLEAR/NO ボタンを押しながら、
リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押します。



- 3** ディスプレイ
DISPLAY ボタンを押して、入
力する文字の種類を選ぶ
押すたびに、以下の選択ができます。
希望する文字の種類が最初から表示さ
れている場合はこの手順は不要です。



文字の種類の表示



- A (大文字のアルファベット) *1
- a (小文字のアルファベット) *1
- 1 (数字/記号) *1
- ア (カタカナ) *1
- ♪ (カンタンタイトル) *2

- *1 「入力できる文字」(右項)
- *2 プリセットチャンネルのタイトル入力時には表示されません。
- * 「カンタンタイトルについて」(下記)

4



マルチジョグ MULTI JOG ダイヤルを回して 文字を選び、ダイヤルを押して 確定する

この手順を繰り返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順3を行います。

入力を間違えたときは

- 文字を訂正する/消去する

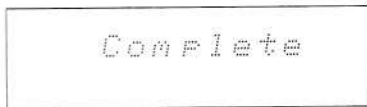
文字の間に追加文字を入れるときは

- 文字を挿入する

5



入力が終わったら、REPEAT/ YES ボタンを押す



「Complete」(完了)が表示されます。名前を入力をやめるときはEDIT/CLEAR/NO ボタンを押しながら、REPEAT/YES ボタンを押します。

カンタンタイトルについて

以下のようなタイトルが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

バラード BALLAD	アフリカン African	コレクション Collection
ブルース BLUES	アメリカン American	フェイバリット Favorite
クラシック CLASSIC	エイジアン Asian	ハッピー Happy
ダンス DANCE	ブリティッシュ British	ヘビー Heavy
フュージョン FUSION	ユーロ Euro	ヒットソングス Hit Songs
ジャズ JAZZ	ジャーマン German	オムニバス Omnibus
ライブ LIVE	ジャパニーズ Japanese	セレクション Selection
ポップス POPS	アンソロジー Anthology	スペシャル Special
レゲエ REGGAE	ベスト オフ Best of	スーパー Super
ロック ROCK	[ofの後ろには 空白()が1 文字分入りま す。]	(空白)
ソウル SOUL		
テクノ TECHNO		
ボカール VOCAL		

入力できる文字

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 WXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 0123456789
 ><) (: : _ \$ % & + - * / = ? ! ' " .
 , (空白) # (挿入)
 アイウエオカキクケコサシスセソタチツ
 テトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤ
 ユヨラリルレロワロン
 アイウエオヤユヨッ

◆ 文字を訂正する/消去する

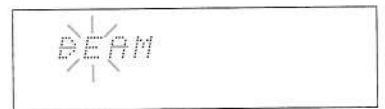
文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(前ページ)の手順1と2を行ってください。

- ① ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押し、訂正する文字を点滅させる。
- ② ● 訂正するとき、左欄「文字を入力する」の手順にしたがって正しい文字を入力する。
- 消去するとき、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押すか、リモコンのCLEAR ボタンを押す。

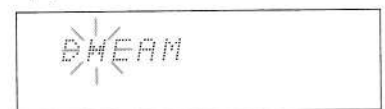
◆ 文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(前ページ)の手順1と2を行ってください。

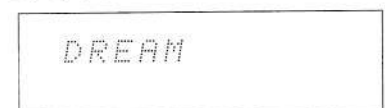
- ① ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押し、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる。



- ② MULTI JOG ダイヤルを回して「M」を表示し、ダイヤルを押す。

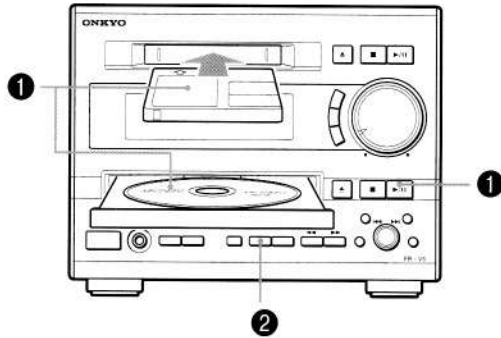


- ③ 「文字を入力する」の手順3、4にしたがって挿入する文字を入力する。



CD ダビング機能を使う (応用編)

◆ 今聞いている曲を頭から録音する — トラック指定CDダビング



- ① CDとMDをセットし、CDの▶/||ボタンを押して再生を始める。
MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。
- ② CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING ボタンを押す。
聞いていた曲の頭から再生が始まり、ダビングが始まります。その曲のダビングが終わるとMDは停止します。
CDはそのまま再生を続けます。

◆ CDのいろいろな再生をMDにダビングする

- ① CDとMDをセットし、入力をCDにしたあといろいろな再生の設定をする。
 - MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。
 - 1 TR (1曲) (27ページ)、RANDOM再生 (27ページ)、MEMORY再生 (26ページ)、REPEAT再生 (28ページ) の設定をします。(設定と選曲のみで、再生はしません。)
- ② CD DUBBING ボタンを押す。
CD → MDのダビングが始まります。

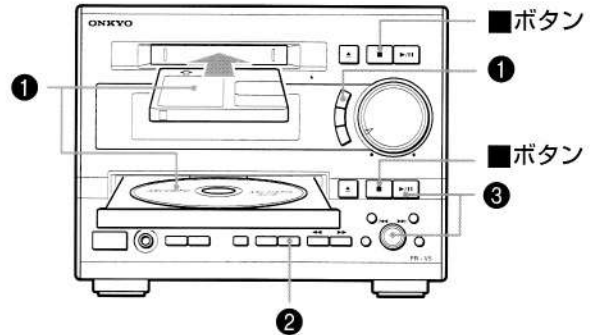
各モードごとのタイトルのコピーについて

- CDにディスク名をつけていると(30ページ)、CDダビング時にCDのディスク名がMDのディスク名としてコピーされます。(ただし、まったく録音されていず、タイトルもついていないMDへのダビング時に限ります。)
- CDを1 Tr (1曲) モードでCDダビングしたときは、CDのディスク名が曲名としてコピーされます。
- ディスク名や曲名は、表示部の表示切り換えで確認することができます。(※ 23ページ)

CD → MDのシンクロ録音機能を使う

◆ CD → MDのシンクロ録音をする

CDの選曲をしながら編集録音したりするとき便利です。



- ① CDとMDをセットし、入力をCDにする。
MDは録音用で、書き込み禁止を解除しておいてください。
- ② ● REC ボタンを押して、録音待機状態にする。
- ③ マルチ ジョク MULTI JOG ダイヤルを回してCDの曲を選び、CDの▶/||ボタンを押して再生をする。
CDの再生が始まると、同時にMDの録音も開始されます。

CDを一時停止して選曲する

MDも録音待機状態になります。
リモコンの◀◀/▶▶ボタンや、本体のマルチ ジョク MULTI JOGダイヤルを回してCDの曲を選び、再びCDの再生を開始すると、MDの録音も再開します。

録音を停止するときは

MDの■ボタンを押すとMDは停止しますが、CDは再生を続けます。
CDの■ボタンを押すと、MDは録音待機状態になります。

録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

◆ 編集／消去機能の紹介

全曲消去する - All Erase オール イレース

MDに録音されているすべての曲を消去してMDを初期化します。

曲を消去する - Erase イレース

1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する - Move ムーブ

1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける - Divide ディバイド

1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ - Combine コンバイン

1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

◆ 編集／消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する

(Divide + Erase)
消去したい部分を Divide 機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase 機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ

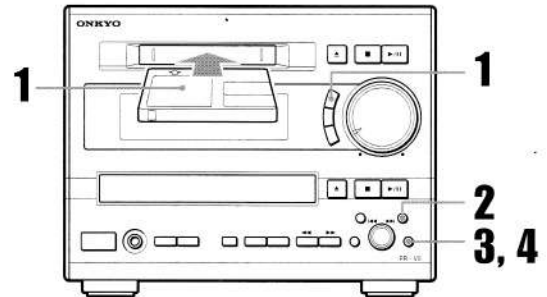
(Move + Combine)
Combine は、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move 機能で曲を移動したあとに、Combine 機能を使います。


編集／消去についてのご注意


- TOCの書き込みはMDを取り出すときと、スタンバイにしたときに行われます。MDを取り出すまで電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（※「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、23ページ）
- MEMORYまたは、RANDOM、1TR表示が点灯しているときは編集できません。通常再生モードにしてください。（※「通常再生にもどす」、28ページ）

◆ 全曲消去する - All Erase オール イレース

- MDが停止しているときに操作できます。
- 途中で中止するときには、MDの■ボタンを押します。



1  MDをセットして、入力をMDにする
MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。

2  EDIT / CLEAR / NO ボタンを（くり返し）押して、「All Erase?」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

All Erase?

3  REPEAT / YES ボタンを押す

All Erase??

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか?）が表示されます。

4  REPEAT / YES ボタンを押す

Complete

MDの曲がすべて消去され、「Complete」（完了）が表示されます。

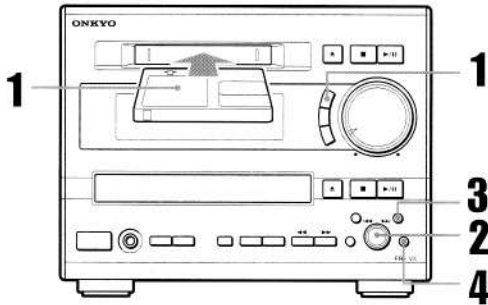
いろいろな機能を使ってみる

→ 次ページへ続く

録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする（つづき）

◆ 1 曲選んで消す - Erase イレーズ

- MDが停止中、一時停止中に操作できます。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。



曲の削除



曲番のふり直し



1

CD/MD



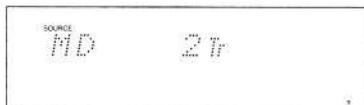
MDをセットして、入力をMDにする

MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。

2



マルチ ジョグ
MULTI JOGダイヤルを回して
消す曲を選ぶ



3

EDIT/CLEAR



エディット クリア ノー
EDIT/CLEAR/NO ボタンを
(くり返し) 押して、「Erase?」
イレーズ?
を表示する

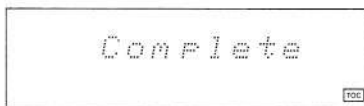


4

REPEAT



リピート イエス
REPEAT/YES ボタンを押す

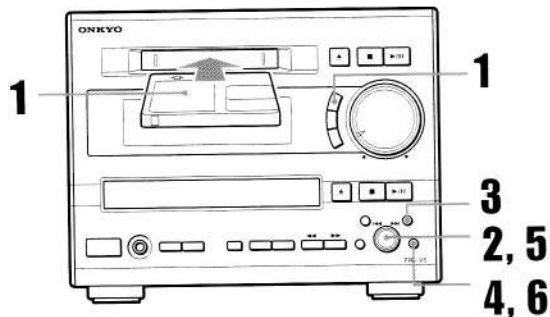



曲が消され、「コンプリート Complete」(完了)が表示されます。


曲番は新たにふり直されます。


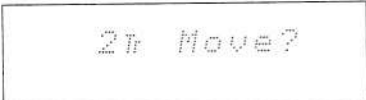
◆ 曲を移動する - Move ムーブ

- MDの停止中、一時停止中に操作できます。
- 途中で中止するときには、MDの■ボタンを押します。



1 CD/MD
 MDをセットして、入力をMDにする
 MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。


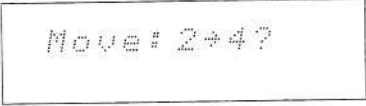
2 マルチ ジョグ
 MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ


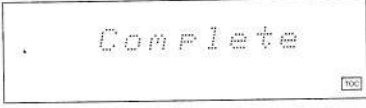

3 エディット クリア ノー
 EDIT/CLEAR/NOボタンを(くり返し)押して、「Move?」を表示する


4 リピート イエス
 REPEAT/YESボタンを押す

 この曲番になります。

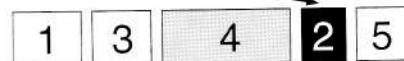
移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。移動先の曲番の入力待ちになります。

5 マルチ ジョグ
 MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える


6 リピート イエス
 REPEAT/YESボタンを押す


指定した曲が移動し、「Complete」(完了)が表示されます。
コンプリート
 曲番は新たにふり直されます。

曲の移動



曲番のふり直し



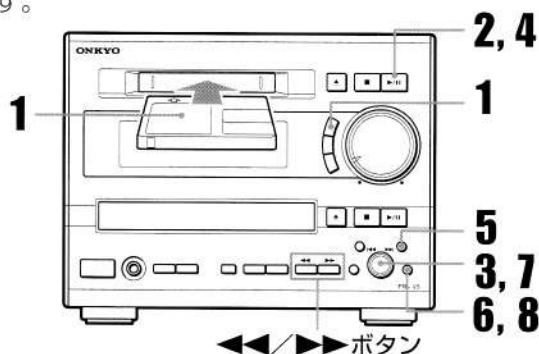
いろいろな機能を使ってみる

➡ 次ページへ続く

録音したMDの編集（曲を移動する、分ける、つなぐ）／消去をする（つづき）

◆ 曲を分ける - Divide ディバイド

- MDの再生中、一時停止中に操作できます。
- 曲名がついているとき（※30ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときには、MDの■ボタンを押します。



1 MDをセットして、入力をMDにする
MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。

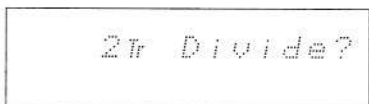
2 MDの▶/||ボタンを押す
再生が始まります。

3 マルチ ジョグ MULTI JOGダイヤルを回して分ける曲を選ぶ
◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。



4 分けたいところでMDの▶/||ボタンを押す
一時停止になります。

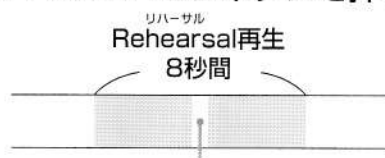
5 エディット クリア ノー EDIT/CLEAR/NOボタンを（くり返し）押し、ディバイド「Divide?」を表示する



6 REPEAT/YESボタンを押す



リピート イェス REPEAT/YESボタンを押す



分かれる位置で音が途切れます。

「リハーサル Rehearsal」（確認再生中）と「ポジション オークナー Position OK?」（分けてもいいですか?）」が交互に表示され、曲が分かれる前後8秒間がくり返し再生されます。

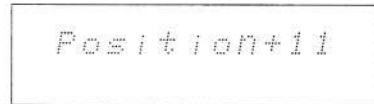
7 マルチ ジョグ 音声を聞きながら MULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする



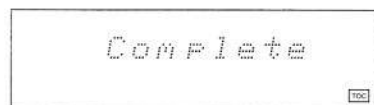
その曲内で数値 -100 ~ +100（±約2.5秒）の間で調整できます。



分かれる位置が微調整で前後に移動します。



8 リピート イェス REPEAT/YESボタンを押す



曲が2つに分かれ、「コンプリート Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

曲の分割

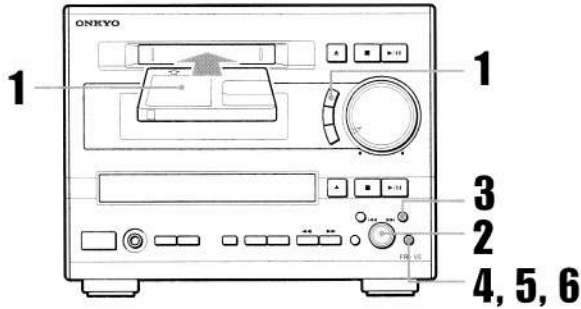


曲番のふり直し



◆ 曲をつなぐ - Combine

- MDの停止中、再生中、一時停止中に操作できます。
- 両方の曲に曲名がついている場合は、前の曲の名前になります。
- どちらか一方に曲名がついている場合は、それが コンバイン 後の曲名になります。
- 途中で中止するときには、MDの **■** ボタンを押します。



1 MDをセットして、入力をMDにする

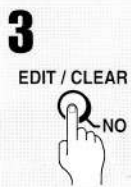
MDは録音用で、録音禁止を解除しておいてください。



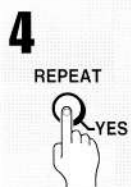
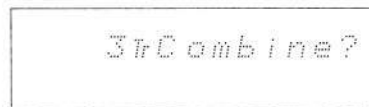
マルチ ジョグ
2 MULTI JOGダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ



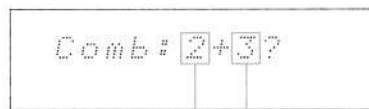
選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。



エディット クリア ノー
3 EDIT/CLEAR/NO ボタンを(くり返し)押して、「Combine?」を表示する

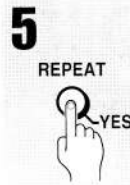


リピート イエス
4 REPEAT/YES ボタンを押す



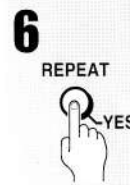
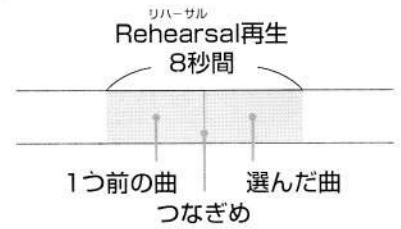
直前の曲 選んだ曲

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

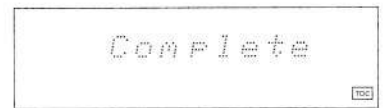


リピート イエス
5 REPEAT/YES ボタンを押す

リハーサル
「Rehearsal」(確認再生中)と「Track OK?」(つなげていいですか?)が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計8秒間がくり返し再生されます。

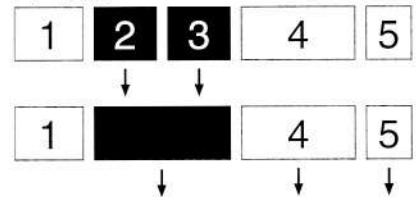


リピート イエス
6 REPEAT/YES ボタンを押す



曲がつながり、「Complete」(完了)が表示されます。曲番は新たにふり直されます。

曲の接続



曲番のふり直し

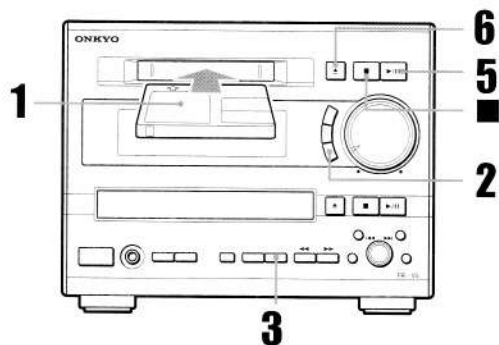


いろいろな機能を使ってみる

外部機器をMDに録音する

9ページで接続した外部機器をMDに録音します。

接続した機器により、アナログ入力/デジタル入力を録音することができます。



1 MDをセットする

MDは録音用を選び、録音禁止を解除しておいてください。

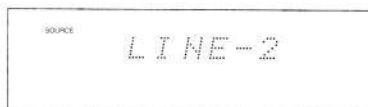
2

TAPE / LINE



TAPE/LINE ボタンを（くり返し）押して、録音する外部機器を選ぶ

テープ → ライン1
DIGITAL ← ライン2



ご注意

- 名称を変えると、その名称が表示されません。（※ 45ページ）
- デジタル端子接続をしていない場合や、外部機器の電源が入っていないときに、DIGITALを選ぶと、DIGITAL表示が点滅します。

3



● REC ボタンを押して、録音待機状態にする

ご注意

「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

録音待機状態にならないときは

- ※ 「ダビングできないときは」（22ページ）

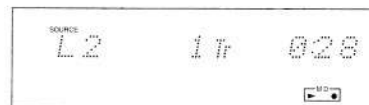
4

外部機器の再生を始める

5



MDの▶/|| ボタンを押して、録音を始める



レベルシンクのオン、オフをするときは

- ※ 「曲番をつける-レベルシンク」（25ページ）

録音中に曲番を好きなところで付けたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

MDを一時停止するときは

MDの▶/|| ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

MDを停止するときは

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。中断するときは、MDの■ボタンを押します。

録音レベルを調節するときは

- ※ 25ページ、同項目

録音結果を確かめる

- ※ 23ページ、同項目

6



録音が終わったら、MDの▲ボタンを押す

- ※ 「TOC表示が点灯、点滅しているときは」（23ページ）

デジタル録音について

本機にはサンプリング・レート・コンバーターが搭載されているので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。

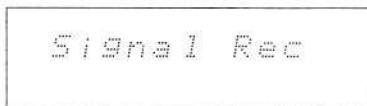
◆ シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的に MD 録音を開始する機能です。

① 前ページ手順1～3を行う。

通常の録音待機状態になっています。

② ● REC ボタンを押す。



「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

③ 外部機器の再生を始める。

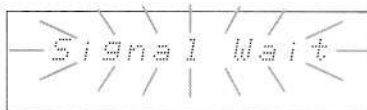
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。

(※ 前ページの手順5を行う必要はありません。)

④ 前ページ手順6を行う。

シグナルウエイト機能について

録音中に外部機器からの入力信号が4秒以上途切れると、自動的に録音待機状態となり「Signal Wait」が点滅表示されます。



約26秒以内に入力信号が再び入ってくると自動的に録音を再開します。(26秒以上過ぎると通常の録音待機状態に戻ります。)

ご注意

この機能はレベルシンクをオンにしているときにはたらきません。レベルシンクをオフにしているとはたらきません。

(※ 「曲番をつける-レベルシンク」、25ページ)

K-505 とのシステム録音操作

別売ステレオカセットテープデッキ、K-505 を本機に接続すると (※ 9 ページ)、以下のような操作ができます。

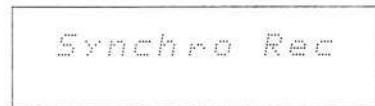
- CD からカセットテープデッキへのシンクロ録音
- MD からカセットテープデッキへのシンクロ録音
- カセットテープデッキから MD へのシンクロ録音

CD や MD からカセットテープデッキへのシンクロ録音については、K-505 の取扱説明書をご覧ください。K-505 の取扱説明書では、CD プレーヤー (C-705) と MD レコーダー (MD-105) が対象に書かれていますが、操作手順は本機 CD、MD と同じです。

ここでは、K-505 を本機にシンクロ録音する手順を説明します。

カセットテープデッキから MD へのシンクロ録音をする

本機が録音待機状態になっているときにカセットテープデッキを再生すると、入力が自動的に TAPE に切り換わり、カセットテープデッキから MD へのシンクロ録音が始まります。



シンクロ録音を中断するには

カセットテープデッキの再生を停止します。本機 MD は、録音待機状態になります。

K-185II/185X を本機に接続しているときのご注意

本機の CD から K-185II/185X への CD DUBBING で、録音レベルが大きすぎるときは、以下の操作を行って録音レベルを小さくしてください。

- ① 本機の入力を TAPE にする。
- ② EDIT/NO/CLEAR ボタンをくり返し押しして、「Dub.Setting?」を表示する。
- ③ REPEAT/YES ボタンを押す。「Level=High」が表示されます。
- ④ MULTI JOG ダイヤルを回して、「Level=Low」を選ぶ。
- ⑤ MULTI JOG ダイヤルを押す。「Complete」(設定終了)が表示されます。

タイマー機能を使う

スリープ ワンス ウィークデイ ウィークエンド レック
SLEEP タイマー、ONCE タイマー、WEEKDAY タイマー、WEEKEND タイマー、REC タイマーの5つがあります。

◆ いろいろなタイマー機能の紹介

スリープ Sleepタイマー

音楽や放送を聞きながら眠ったりするときなどに使います。時間がくると自動的に電源が切れます。

ワンス ウィークデイ ウィークエンド Once、Weekday、Weekendタイマー

- 設定してある開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した入力 (CD、または MD、FM、AM、TAPE*、LINE-1*、LINE-2*、DIGITAL*) になります。
 - 入力に CD や MD を設定したとき、また別売ステレオカセットテープデッキ、K-505 を接続して TAPE を設定したときは、再生が始まります。
 - 入力に FM / AM 放送を設定したときは、設定したプリセットチャンネルの放送がオンになります。
- ※ 名称を変えるとその名称が表示されます。(※ 45 ページ)
- 終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- Once タイマーは 1 度だけはたります。
- Weekday タイマーは毎週月～金曜日 (初期設定) の、指定した同じ時刻にはたります。(曜日の設定は変更できます。)
- Weekend タイマーは毎週土、日曜日 (初期設定) の、指定した同じ時刻にはたります。(曜日の設定は変更できます。)

レック Recタイマー

- 設定した曜日の開始時刻になると、自動的に電源が入り、設定した入力から設定した機器への録音が始まります。録音機器には以下の機器が選べます。
 - 本機 MD
 - 別売ステレオカセットテープデッキ、K-505
 - 本機 MD と別売ステレオカセットテープデッキ、K-505 の両方
- 終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- Rec タイマーは 1 度だけはたります。

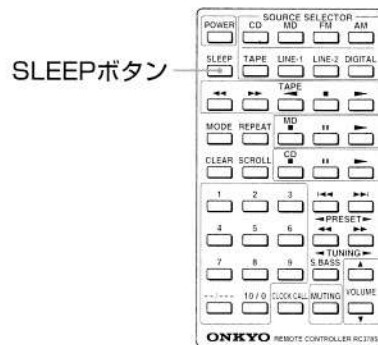
！ヒント

- 録音中は MUTING 機能がはたらいて音声がごく小さくなります。Rec タイマー中に音声を聞きたいときは、リモコンの MUTING ボタンを押して、機能を解除してください。
- タイマー録音終了後、本体の MD の ▶/|| ボタンまたはリモコンの MD の ▶ ボタンを押すと、タイマー録音が始まった時点から再生が始まります。MD の初めから再生するには、再生する前に一度 MD の ■ ボタンを押してください。

◆ スリープ Sleepタイマーを使う

リモコンで操作する

10分単位の時間設定が可能です。



SLEEP 音楽、FM / AM 放送鑑賞中に スリープ SLEEP ボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。



残り時間を確認するには

Sleep タイマーがはたらいているときに、SLEEP ボタンを押します。残り時間表示中に SLEEP ボタンを押すと、押すごとに10分単位で残り時間が短くなります。

スリープ Sleepタイマーを解除するには

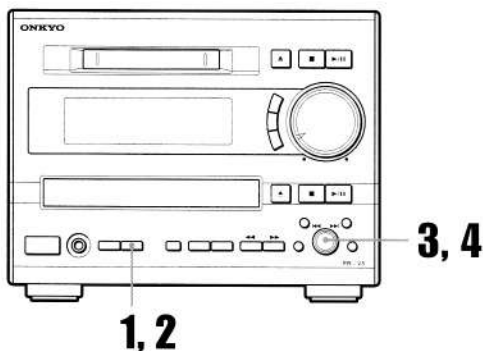
「Sleep off」の表示が出るまで SLEEP ボタンを (くり返し) 押します。

CDダビングを終わらせてから自動的に電源が切れるようにするには

CD から MD や、別売ステレオカセットテープデッキ、K-505 との CD ダビング中に Sleep タイマーをはたらかせると、ダビングが終了してから電源が切れます。この機能を利用して、寝る前や、外出前に CD ダビングを始めることができます。

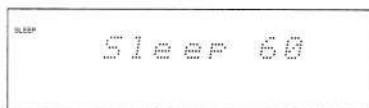
本体で操作する

10分単位と1分単位の時間設定が可能です。



1 **TIMER ON/OFF** ボタンを押す
音楽、FM / AM 放送鑑賞中に「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

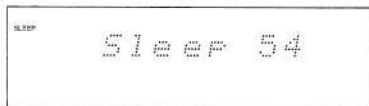
2 **TIMER ON/OFF** ボタンを押す
時間を90分以下にしたいときは、



押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。

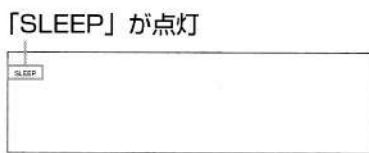
90 → 80 → ... → 10 → off

3 **MULTI JOG** ダイアルを回す
1分ごとに時間を設定したいときは、



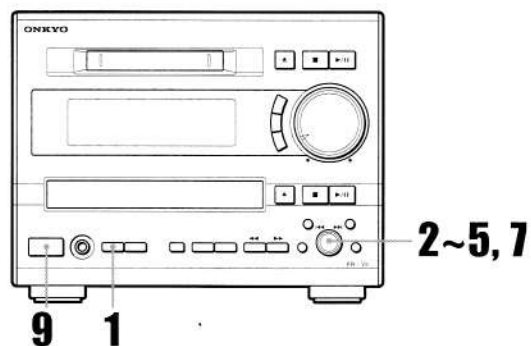
手順2で設定した時間を基準にして右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

4 **MULTI JOG** ダイアルを押す



SLEEP タイマーが作動開始します。

◆ ワンス、ウィークデイ、ウィークエンド、レック、Once、Weekday、Weekend、Rec 各タイマーを設定する



1 **TIMER PROGRAM** ボタンを(くり返し)押し設定するタイマーを選ぶ

Once Timer → WeekdayTimer → WeekendTimer → Rec Timer → Clock * → 通常表示

* 時計設定 (※ 11ページ) ここでは選びません。



2 **MULTI JOG** ダイアルを押し、ダイアルを回して入力を選ぶ



● Once、Weekday、Weekend タイマーのとき

CD ⇄ MD ⇄ FM ⇄ AM ⇄ TAPE*
DIGITAL* ⇄ LINE-2* ⇄ LINE-1*

● Recタイマーのとき (録音元を選ぶ)

FM ⇄ AM
LINE-2* ⇄ LINE-1*

* 名称を変えるとその名称が表示されます。

(※ 45ページ)

LINE-1、LINE-2はタイマー機能をもつ機器を接続してください。



➡ 次ページへ続く

いろいろな機能を使ってみる

タイマー機能を使う (つづき)

3



マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押し、
ダイアルを回して開始時刻を選ぶ



4



マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押し、
ダイアルを回して終了時刻を選ぶ



マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押しあつたあと
は、開始時間より1時間プラスされた
時刻が終了時刻として表示されます。

5



● 手順2で入力にFMまたはAMを
選んだときは

マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押し、
ダイアルを回してプリ
セットチャンネルを選ぶ



● FM、AM以外の入力を選んだと
きは、
次の手順に進んでください。

6

● ウィークデイ Weekday、ウィークエンド Weekendタイマ
ーの場合
「Weekday、Weekendタイマーの
曜日設定を変える」(次ページ)を
実行する

● レック Recタイマーの場合
「Recタイマーの曜日設定と、録音
先の選択をする」(次ページ)を実
行する

● ワンス Onceタイマーの場合
次の手順に進んでください。

7



マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押し
「Timer On」が表示され、設定したタ
イマーがオンになります。



ワンス タイマー
ONCE = Once Timer
ウィークデイ タイマー
W.DAY = Weekday Timer
ウィークエンド タイマー
W.END = Weekend Timer
レック タイマー
REC = Rec Timer

他のタイマーの設定をするときは、手
順1から始めます。

8

設定した入出力の準備をする

● ワンス Once、ウィークデイ Weekday、ウィークエンド Weekend
タイマーで選んだ入力の再生準備
(CDをセットするなど)をしてく
ださい。

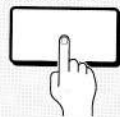
タイマーオン時の音量は、電源を
切る直前の音量と同じになります。
あらかじめ調整しておいてくださ
い。

● レック Recタイマーのときは、録音禁止
を解除したMDを本機にセットし
ます。

録音レベルの調整、レベルシンク
のオン、オフの変更 (25 ペー
ジ) が必要なときはあらかじめ設
定しておいてください。

9

STAND-BY / ON



電源を切る

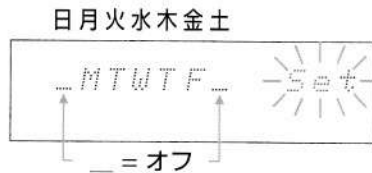


設定したタイマーの表示が点灯
しています。

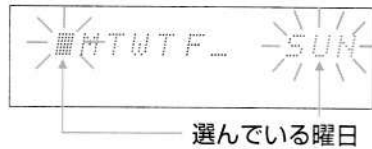
電源が入っているとタイマーが作動し
ません。

ウィークデイ ウィークエンド
**Weekday、Weekendタイマーの曜日設定
 を変える**

- ① **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを押す。**
 曜日によるオン、オフの設定を確認してください。オン、オフの設定を変えなくていい場合はそのまま手順②を行ってください。

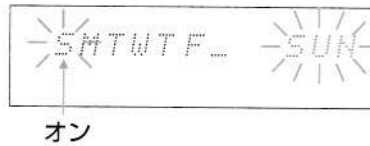


- ② **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを回して、変更
 する曜日を選ぶ。**



(SUN=日、MON=月、TUE=火、WED=水、
 THU=木、FRI=金、SAT=土)

- ③ **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを押して、選ん
 だ曜日のオンオフの設定変更をする。**
 押すたびに、交互にオンオフの設定が変わります。

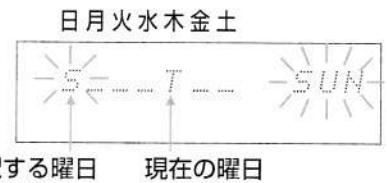


- ④ 他の曜日の設定変更をするときは、手順
 ②、③をくり返す。
- ⑤ 曜日の設定が終わったら、**MULTI JOG** マルチ ジョグ
セット **ダイヤルを回して、「Set」を表示する。**



レック
**Rec タイマーの曜日設定と、録音先の選
 択をする**

- ① **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを押す。**
 曜日設定モードになります。



- ② **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを回して、曜日
 を選ぶ。**



曜日のかわりに「NEXT」を選ぶと

手順③で選んだ開始時刻が現在の時刻から24時間以内であれば、**MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを回して「NEXT」(次の)を選ぶと、時刻による曜日の変更を気にせずに先に進めます。**

- ③ **MULTI JOG** マルチ ジョグ **ダイヤルを押して、ダイヤ
 ルを回して録音先を選ぶ。**



*1 名称を変えるとその名称が表示されます。(P.45 ページ)

*2 TAPEは、別売のステレオカセットテープデッキ、K-505をシステム接続したときのみはたります。(P.9 ページ)

MD&TAPEを選ぶと、本機MDとカセットテープデッキで同時録音することができます。

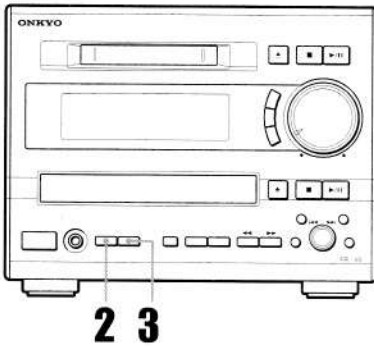
➡ 次ページへ続く

いろいろな機能を使ってみる

タイマー機能を使う (つづき)

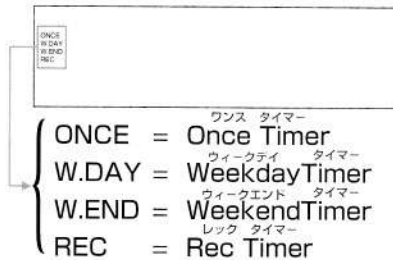
◆ ^{ワンス}Once、^{ウィークデイ}Weekday、^{ウィークエンド}Weekend、^{レック}Rec 各タイマーをオン、オフする

各タイマーの設定をしたあとでタイマーをオフにしたい、またオフにしたあとでオンにしたいときは以下のようにしてください。

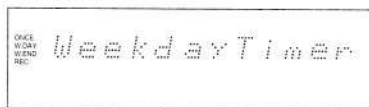
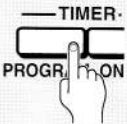


1 各タイマーのオン、オフ状態を確認する

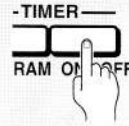
オンになっているタイマーは点灯しています。



2 タイマー プログラム TIMER PROGRAM ボタンを (くり返し) 押して、タイマーを選ぶ



3 タイマー オン/オフ TIMER ON/OFF ボタンを押す



オンになっていたタイマーはオフになり、オフになっていたタイマーはオンになります。

ご注意

タイマーを再びオンにしたときは、必ず電源を切ってください。電源が入っているとタイマーがはたらきません。

◆ タイマーが重なったときは

^{ワンス}Once / ^{ウィークデイ}Weekday / ^{ウィークエンド}Weekend / ^{レック}Rec の2つ以上のタイマーが同じ開始時刻に設定されているときは ^{ワンス}Once / ^{ウィークデイ}Weekday / ^{ウィークエンド}Weekend / ^{レック}Rec の順に優先されます。

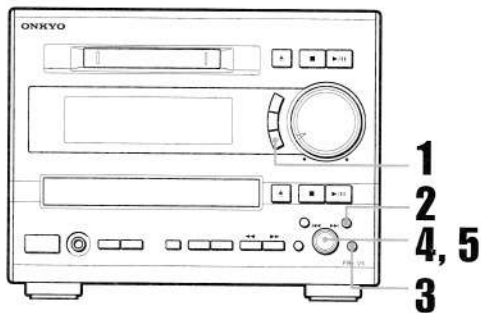
他のタイマーの作動中に別のタイマーの開始時刻になったときは

先に作動したタイマーが優先され、重なったタイマーは終了時刻を含めて無効となります。先に作動するタイマーの終了時刻と後のタイマーの開始時刻には、必ず 1分以上の間隔をあけてください。

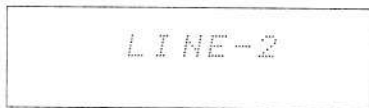
電源が入っていたり、他のタイマーと重なって作動しなかった ^{レック}Rec、^{ワンス}Once タイマーは自動的に予約が解除 (オフ) されます。

外部入力機器の表示名称を変える

接続した外部機器 (9 ページ) に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。



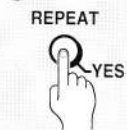
1 テープ/ライン
TAPE/LINE ボタンを (くり返し) 押し、名称を変える外部入力を選ぶ



2 エディット クリア ノー
EDIT/CLEAR/NO ボタンを (くり返し) 押し、「Name Select?」を表示する



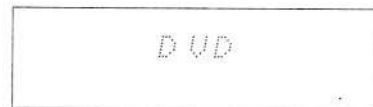
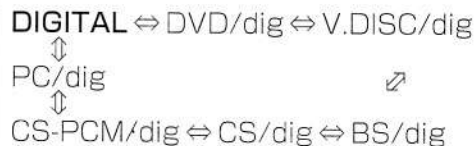
3 リピート イェス
REPEAT/YES ボタンを押す



4 マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを回して名称を選ぶ

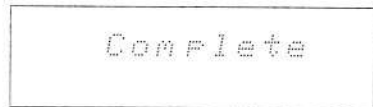


入力による名称選択



変更をやめるときは、エディット クリア EDIT/CLEAR/NO ボタンを押します。

5 マルチ ジョグ
MULTI JOG ダイアルを押して決定する



コンフリット 「Complete」が表示されます。
リピート イェス REPEAT/YES ボタンを押しても同じです。

省略名称表示

場合によって省略名称が表示されることがあります。下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS	BS
CS	CS
CS-PCM	CP
DAT	DT
DIGITAL	DG
DVD	DV
LINE-1	L1
LINE-2	L2
PC	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
VIDEO DISC	VD

FM / AM のプリセットチャンネルを編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

◆ プリセットチャンネル編集のヒント

チャンネル番号を変更する

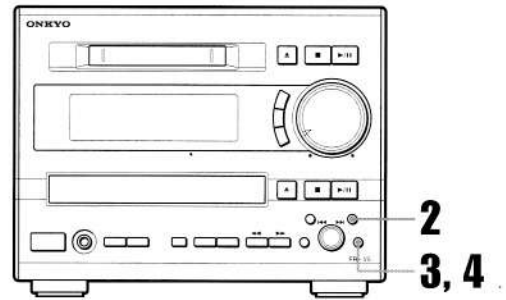
コピーと削除機能を使います。

例えば、FMで3チャンネルにオートプリセットされた放送局を8チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、

- ① 3チャンネルを8チャンネルにコピーする。
- ② 3チャンネルを削除する。

という手順で行うことができます。

◆ プリセットチャンネルを削除する



- 1** FMまたはAMの削除するプリセットチャンネルを呼び出す

例) ^{チャンネル}4CH、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4.

- 2** ^{エディット}EDIT/CLEAR/^{クリア}NO ボタンを（くり返し）^{プリセット}押し、「Preset Erase?」を表示する



Preset Erase?

- 3** ^{リピート}REPEAT/^{イエス}YES ボタンを押す
再確認のメッセージが表示されます。



Erase OK? 4.

削除をやめるときは、^{エディット}EDIT/CLEAR/^{クリア}NO ボタンを押します。

- 4** ^{リピート}REPEAT/^{イエス}YES ボタンを押す

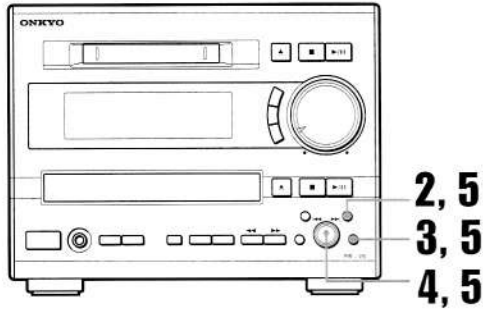


Complete

プリセットチャンネルが削除され、^{コンプリート}「Complete」（完了）が表示されます。

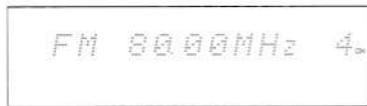
◆ プリセットチャンネルをコピーする

プリセットチャンネルをコピーすると、プリセットチャンネルにつけた名前 (P. 30 ページ) も同時にコピーされます。

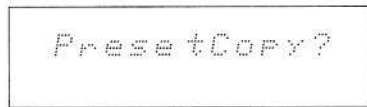


1 コピーする、FMまたはAMのプリセットチャンネルを呼び出す

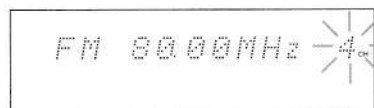
例) 4CH、FM80.00MHzを選んだとき



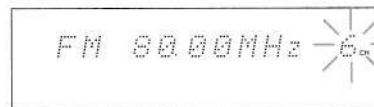
2 **EDIT/CLEAR/NO** ボタンを (くり返し) 押して、「Preset Copy?」を表示する



3 **REPEAT/YES** ボタンを押す



4 **MULTI JOG** ダイアルを回してコピー先のプリセットチャンネルを選ぶ



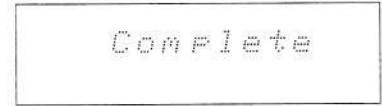
5



マルチ ジョグ **MULTI JOG** ダイアルを押す

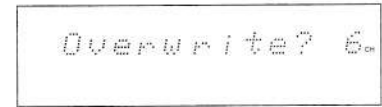
REPEAT/YES ボタンを押しても同じです。

● 「Complete」 (完了) と表示されたときは



放送局が指定のチャンネルにコピーされました。

● 「Overwrite?」 (書き換ええますか?) と表示されたときは



選んだチャンネルは登録済みです。

○ すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、REPEAT/YES ボタンを押します。

○ 書き換えをやめるときは、EDIT/CLEAR/NO ボタンを押します。

REPEAT



EDIT / CLEAR

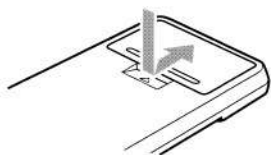


別売 MD 専用リモコン、RC-339MD を使う

RC-339MD を使って本機の MD を操作することができます。このリモコンで操作がより一層簡単になり、本体でしかできなかった機能やこのリモコン特有の機能操作が可能になります。

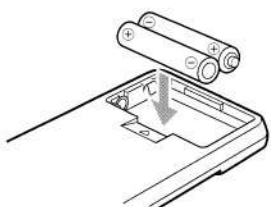
◆ 乾電池を入れる

1



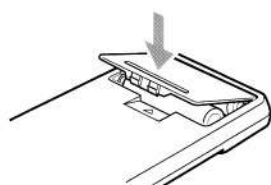
カバーを矢印の方向に押し上げてははずす。

2



中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を+（プラス）と-（マイナス）を間違えないように入れる。

3



カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

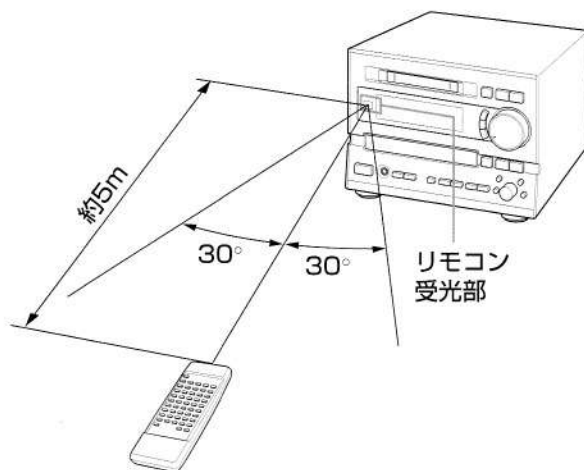
◆ リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

付属のリモコンと同じ名前やマークのボタンは同じはたらきをします。

お知らせ

- A-SPACE ボタン、および POWER ボタンは使用しません。
- DISPLAY ボタンは本体の DISPLAY ボタンと同じはたらきをします。



ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

◆ 数字ボタンで曲番を選ぶ



数字ボタンの使いかた

>25 は25より大きい数であることを表し、 10 は10もしくは0を表します。

- 1～25曲目は数字ボタンを1つ押します。

例) 曲番 押す数字ボタン

8 8

10 10

25 25

- 26～99曲目は、以下の順に押します。

>25 → 10 の位の数 → 1 の位の数

例) 曲番 押す数字ボタン

30 >25 → 3 → 10

34 >25 → 3 → 4

- 100曲目以上は、以下の順に押します。

>25 → >25 → 100 の位の数 →

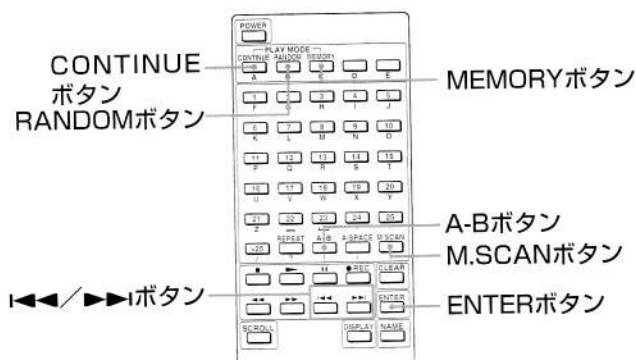
10 の位の数 → 1 の位の数

例) 曲番 押す数字ボタン

100 >25 → >25 → 1 →
 10 → 10

103 >25 → >25 → 1 →
 10 → 3

◆ いろいろな再生をする



エービー A-B ボタンを使って2点間再生をする — A-B リPEAT

- ① MDの再生中に、くり返しの始め(A点)でA-Bボタンを押す
- ② くり返しの終わり(B点)でA-Bボタンを押す
A-B間のくり返し再生が始まります。

くり返し再生をやめるには

- A-BボタンがREPEATボタンを押すとA-Bリピートはキャンセルされて再生中の曲の頭から通常再生が始まります。
- \blacksquare ボタンを押すと、A-Bリピートがキャンセルされ、再生が停止します。

ミュージック スキャン M. SCAN ボタンを使って再生する

— ミュージックスキャン

各曲の頭だけ8秒間ずつMDの再生をします。

- ① MDの再生中、または停止中に
ミュージック スキャン M. SCAN ボタンを押す
表示部、MDの▶インジケーターが点滅し、ミュージックスキャンが始まります。
- ② 再生したい曲が見つかったら、
ミュージック スキャン M. SCAN ボタンまたは、▶ボタンを押す
その曲から通常再生されます。

ランダム MDのRANDOM再生 / メモリー MEMORY再生をする

RANDOM ボタン / MEMORY ボタンを押します。MEMORY 選曲では、数字ボタンの他に、 \lll / \ggg ボタンで曲を選び、ENTER ボタンで確定することもできます。

RANDOM、MEMORY 再生モードを解除するときには、MD停止中にCONTINUE ボタンを押します。

→ 次ページへ続く

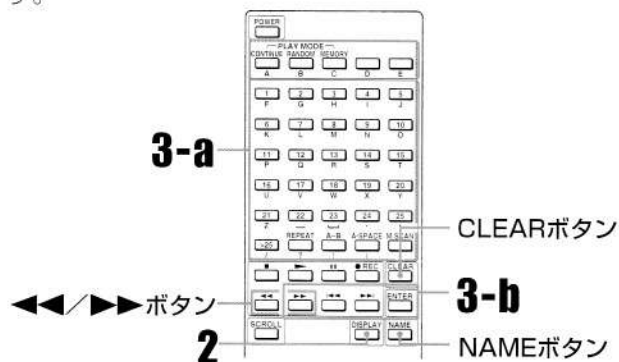
別売 MD 専用リモコン、RC-339MD を使う (つづき)

◆ 文字を入力する

リモコンで文字入力ができます。

文字の入力は **3-a** の直接入力と、**3-b** の選択入力の 2 つの方法があります。

CD のディスク名、MD のディスク名や曲名、FM や AM のプリセットチャンネルの名前 (※ 30 ページ)、いずれも共通の操作で名前を入力することができます。



1 「文字を入力する」の手順 1、2 (30 ページ) を本体で行う

! ヒント

MD にディスク名、曲名をつけているときは、リモコンの NAME ボタンを押してもできます。

2 ディスプレイ DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ



押すたびに、以下の選択ができます。希望する文字の種類が最初から表示されている場合はこの手順は不要です。

文字の種類の表示



- A (大文字のアルファベット)
 - ↓
 - a (小文字のアルファベット)
 - ↓
 - 1 (数字)
 - ↓
 - ア (カタカナ)
 - ↓
 - ♪ (カンタンタイトル) *
- * プリセットチャンネルのタイトル入力時には表示されません。
 ※ 「カンタンタイトルについて」 (31 ページ)

3-a



文字ボタンを押して、ボタンに表記された文字を入力する

入力できる文字については、31 ページを参照してください。ボタンの表記にない記号は、**3-b** のやり方で入力してください。

カタカナのとき

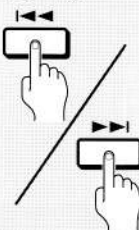
ボタンのアルファベットを組み合わせると入力します。(※ 「アルファベットによるカタカナ入力、51 ページ」)

カンタンタイトル

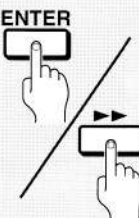
内容は 31 ページの「カンタンタイトルについて」を参照してください。

カンタンタイトルは、1 つのボタンによる直接入力はできません。**3-b** のやり方で入力してください。

3-b



←/→ ボタンを押して、文字を選び、ENTER ボタンまたは → ボタンを押して確定する。カンタンタイトルや、ボタンに表記されていない記号の入力はこの方法で入力してください。直接入力できる文字もこのやり方で入力できます。



入力を間違えたときは

※ 「文字を訂正する/消去する」 (次ページ)

文字の間に追加文字を入れるときは

※ 「文字を挿入する」 (次ページ)

4

3-a または 3-b を繰り返して次の文字を入力する

途中で文字の種類を変えるときは、手順 2 を行います。

5

入力が終わったら、本体の REPEAT/YES ボタンを押す。

「Complete」 (完了) が表示されます。

! ヒント

MD にディスク名、曲名をつけているときはリモコンの NAME ボタンを押してもできます。

◆文字を訂正する／消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(前ページ)の手順1を行ってください。

- ① ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押し、訂正する文字を点滅させる。
- ② ● 訂正するときは「文字を入力する」(前ページ)の手順2、3-aまたは3-bにしたがって正しい文字を入力する。
- 消去するときは、^{クリア}CLEARボタンを押す。

◆文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(前ページ)の手順1を行ってください。

- ① ◀◀または▶▶ボタンを(くり返し)押し、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる。
- ② I◀◀または▶▶Iボタンを(くり返し)押し、「#」を表示し、ENTERボタンを押す。
- ③ 「文字を入力する」の手順手順2、3-aまたは3-bにしたがって挿入する文字を入力する。

◆アルファベットによるカタカナ入力

ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU	テ TE	ト TO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ FU FU	ヘ HE	ホ HO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イエ YE	ヨ YO
ラ	ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO
ン*	NN	N			
* Nに続いて子音(K, T, P, Z, J, Dなど)が続くと「ン」になります。					
ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO

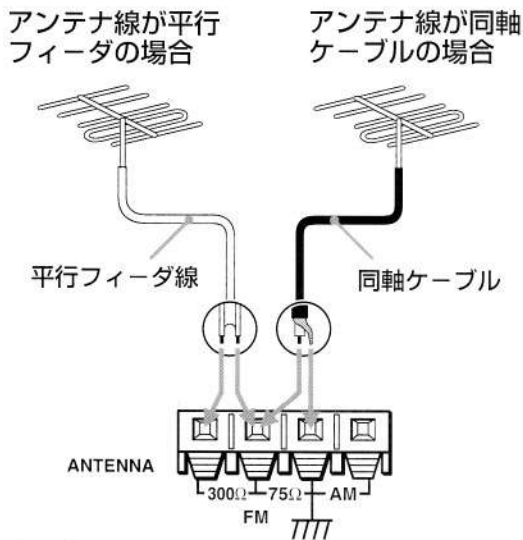
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO
ダ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO
ツ*	ツ LTU	ツ XTU			
* 後ろに子音を2つ続けても入力できます。 【例】だった…DATTA					
ア	ア LA XA	イ LI XI	ウ LU XU	エ LE XE	オ LO XO

2文字

キャ	キャ KYA	キィ KYI	キュ KYU	キェ KYE	キョ KYO
シャ	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
チャ	チャ TYA CYA CHA	チィ TYI CYI	チュ TYU CYU CHU	チェ TYE CYE CHE	チョ TYO CYO CHO
チャ	チャ THA	チィ THI	チュ THU	チェ THE	チョ THO
ニャ	ニャ NYA	ニィ NYI	ニユ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ヒャ	ヒャ HYA	ヒィ HYI	ヒュ HYU	ヒェ HYE	ヒョ HYO
ファ ¹	ファ FA	フィ FI		フェ FE	フォ FO
ファ ²	ファ FYA	フィ FYI	フュ FYU	フェ FYE	フォ FYO
ミャ	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
リャ	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO
ギャ	ギャ GYA	ギィ GYI	ギユ GYU	ギェ GYE	ギョ GYO
ジャ	ジャ JYA ZYA JA	ジィ JYI ZYI	ジュ JYU ZYU	ジェ JYE ZYE	ジョ JYO ZYO
チャ	チャ DYA	チィ DYI	チュ DYU	チェ DYE	チョ DYO
ヂャ	ヂャ DHA	ヂィ DHI	ヂュ DHU	ヂェ DHE	ヂョ DHO
ビャ	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
ピャ	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴァ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO

FM / AM 屋外アンテナを接続する

◆ FM 屋外アンテナを接続する



★ ヒント

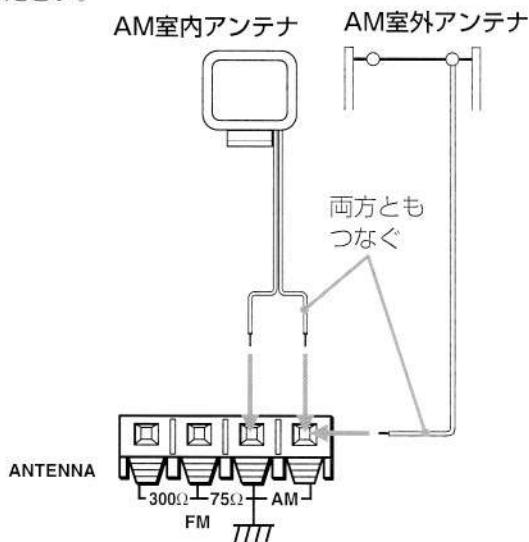
- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

- ⚠ 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

◆ AM 屋外アンテナを接続する

鉄筋住宅などで AM 室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。



ご注意

AM屋外アンテナを接続するときも、必ずAM室内アンテナを接続しておいてください。

メッセージ一覧

ご使用状況により、メッセージが表示されま
す。意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりの録音用MD、または曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	デジタル入力録音できない状態になっている(「デジタル入力録音時のルールについて」、53ページ参照)。
Cannot Edit	MEMORY、RANDOM、1TR再生のモードで編集しようとした。再生専用ディスクで編集しようとした。録音待機中に編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用ディスクに録音しようとした。
Cannot Set	タイマー動作中にタイマー設定しようとした。
Disc Error	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、53ページ参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
Full	タイトル入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	編集できなかった。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Disc	ディスクが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているMDが入っている。
Not Audio	オーディオ用以外のディスクを再生した。
MD Writing	ディスクへの書き込み中
Mecha Error	メカに異常が発生した。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Over	ポーズ中(一時停止中)に早送りボタンを押してディスクの最後まで達した。
Protected	MDが録音禁止状態になっている。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。
Recording	録音中に入力を換えようとした。
Temp Over	メカの温度が高温になった。
TOC Error	TOCの読み取りに失敗した。
U-TOC Error	録音や編集内容の記録に失敗した。

デジタル入力録音時のルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)またはデジタルオーディオテープ(DAT)、ミニディスク(MD)ソフトから、MDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のMDへ、「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。

MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3

DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

この場合は、2回目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー(衛星放送受信機)によっては、2回目のデジタル録音ができないことがあります。

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間(60分、74分)に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- **短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。
- **曲をつなぐことができない場合がある。**
編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない場合がある。**
通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。また、ディスクに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。
- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。

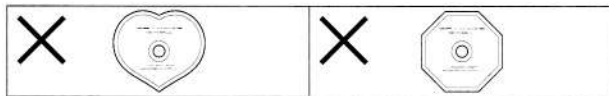
コンパクトディスク (CD) について

● 演奏上のご注意

CD (コンパクトディスク) はディスクレーベル面に右のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

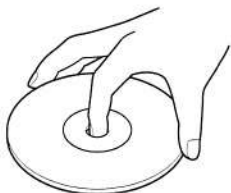


ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



● 取り扱いについて

演奏面 (印刷されていない面) に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持つてください。



演奏面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

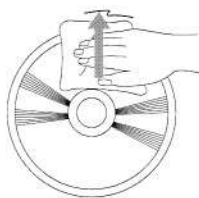
● レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

● お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。



● 保管上の注意について

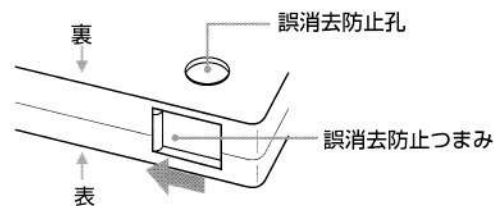
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所は避け、必ず専用ケースに入れて保管してください。

ミニディスク (MD) について

MDには市販の再生専用のミュージックMDと、録音用の2種類があります。

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします。(録音禁止状態)

再び録音するときは、つまみを元に戻します。



MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

● 内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



● 置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

● 長時間使用しないときは

MDがMDレコーダーの中に入っているときは、シャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDをMDレコーダーから取り出しておいてください。

● 定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

主な仕様

■ 一般仕様

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法規格）	52W
外形寸法（幅×高さ×奥行）	205 × 154 × 356mm
質量	5.0kg

■ アンプ部

実用最大出力	23W + 23W (EIAJ、4 Ω) 19W + 19W (EIAJ、6 Ω)
定格出力	17W + 17W (4 Ω) 12W + 12W (8 Ω)
全高調波ひずみ率	0.2% (1kHz 定格出力時)
SN比	100dB (LINE-1、LINE-2、TAPE)
周波数特性	10Hz ~ 50kHz / +0、-3dB
トーンコントロール	BASS 100Hz ± 10dB TREBLE 10kHz ± 10dB

■ CD部

形式	光学式（コンパクトディスク方式）
読み取り方式	非接触光学式
周波数特性	10Hz ~ 20kHz (± 3dB)
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ MD部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式
録音時間	最大 74分（74分ディスク使用時）
周波数特性	10Hz ~ 20kHz (± 3dB)
ワウ・フラッター	測定限界以下

■ チューナー部

受信周波数	FM 76.0 ~ 108.0MHz AM 522 ~ 1629kHz
感度 (FM)	18.8dBf (2.4μV、75 Ω、SN 50dB)
SN比 (FM)	73dB (MONO) 67dB (STEREO)
ステレオセパレーション (FM)	40dB (1kHz)
ひずみ率 (FM)	0.5% (MONO) 0.8% (STEREO)

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

故障? と思ったら

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはオンラインサービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名FR-V5」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

	症状	原因	処置	参照ページ
アンプ部	● 電源が入らない。	● 電源プラグの差し込みが不完全になっている。	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	10
	● 音がでない。	● スピーカーコードのしん線部が他の端子や金属部に接触している。 ● 音量が最小になっている。 ● ミューティングが働いている。 ● ヘッドホンを接続している。 ● 接続コードの差し込みが不完全になっている。	● スピーカー端子の接続を点検してください。 ● 音量を調節してください。 ● リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。 ● 音量を下げてからヘッドホンをはずしてください。 ● 接続を点検してください。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。	8 10 29 58 9
	● 雑音が入る。	● テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けている。	● テレビなどの電源を切るか、本機から離して設置してください。	-
	● 音とびする。	● 本機に振動が加わっている。 ● ディスクに大きな傷がある。 ● ディスクがひどく汚れている。-CD	● 振動のない場所に設置してください。 ● ディスクを取り替えてください。 ● ディスク表面をクリーニングしてください。	- 54
CD/DM	● 曲をメモリーすることができない。	● ディスクが入っていない。 ● ディスクにない曲番をメモリーさせようとしている。	● ディスクを入れてください。 ● ディスクにある曲番をメモリーしてください。	26
	● ディスクが入っているのに再生しない。	● ディスクの裏表が逆になっている。-CD ● ディスクがひどく汚れている。-CD ● ディスクが汚れている、または損傷している。（「Disc Error」表示が出る。）-MD ● なにも録音されていないディスクが入っている。-MD ● 結露している。	● ディスクのラベル面を上にして入れ直してください。 ● ディスク表面をクリーニングしてください。 ● 新しいディスクと取り替えてください。 ● 録音されているディスクと取り替えてください。 ● ディスクを取り出して、数時間おいてください。	16, 54 2 52, 54 18 57
	● 選曲時間（指定の曲をさがし出す時間）が極端に長い。	● ディスクが汚れている。 ● ディスクに傷がある。	● ディスク表面をクリーニングしてください。 ● ディスクを取り換えてください。	54
	● ディスクが入らない。	● ディスクを逆向きに差し込もうとしている。	● ディスクの矢印の向きに合わせて差し込んでください。	18
MD	● 録音できない。	● ディスクが録音禁止状態になっている。（「Protected」表示が出る。） ● 外部入力の録音の時、音源と正しく接続されていない。 ● アナログ入力時に録音レベルが小さすぎる。 ● 再生専用ディスクが入っている。（「Cannot Rec」表示が出る。） ● ディスクの残り時間がない。 ● オーディオ用光デジタルケーブルが接続されていない。（「D. In Unlock」表示が出る。） ● 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になった。	● ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。 ● 接続を点検してください。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。 ● 録音レベルを調節してください。 ● 録音用ディスクと取り替えてください。 ● 残り時間が十分ある録音用ディスクと取り替えるか、不要な曲を消してください。 ● オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。 ● それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。電源コードを接続後、または停電復帰後、電源を入れてください。	54 9 25 54 34 9 23
	● タイトル入力ができない。	● ディスクが録音禁止状態になっている。（「Protected」表示が出る。） ● 再生専用ディスクが入っている。（「Cannot Rec」表示が出る。）	● ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。 ● 録音用ディスクと取り替えてください	54 30
	● 上のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。			10

	症状	原因	処置	参照ページ
チューナー	● FMステレオ放送のとき、モノラル放送にくらべ、サーというノイズが出る。	● FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるので放送局の電波の強さによってはノイズが少し出ます。	● 音質調整で高音を下げてみてください。 ● モノラルで受信してください。	29 21
	● モノラル放送、ステレオ放送ともノイズが多い。	● アンテナの設置場所や向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。	● アンテナの設置場所、高さ、方向を変えてみてください。 ● 室内アンテナなら屋外アンテナにしてください。 ● 素子数の多いアンテナに変えてみてください。(アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。)	20 52
	● FMステレオ放送で「STEREO」表示が点滅し、完全に点灯しない。	● アンテナの向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。		
	● 音がひずんだり小さくなったりする。	● 電波が乱れている。 ● 近くを自動車が行ったり、飛行機が飛んでいる。		
	● ステレオ放送でノイズが多く、ときどき音が出なくなる。	● アンテナの設置場所や向きが不適当。 ● 放送電波が弱い。		
	● FMステレオ放送で音にひずみが多い。	● 近くにビルや山がある。[送信所からの電波(直接波)とビルや山に反射した電波(反射波)との干渉によりマルチパスひずみが生じている。]		
● AM放送受信時、ノイズが入る。	● 電気器具がすぐそばにあり、電源が入っている。	● AM室内アンテナを電気器具から離してください。 ● 電気器具の電源を切ってください。	-	
タイマー	● タイマーがはたらかなかった。	● 電源が入っていた。 ● タイマーの設定時刻が重なっていた。	● 電源が入っているとタイマーははたらきません。タイマーをセットするときは必ず電源を切ってください。 ● 重ならないようにタイマーをセットしてください。	42, 44 44
	● タイマー再生したが音がでなかった。	● 音量が最小になっていた。	● 適当な音量に調節しておいてください。	42
リモコン	● リモコン操作ができない。	● 電池が消耗している。 ● リモコン受光部と距離がありすぎる、角度が悪い。 ● リモコン受光部との間に障害物がある。 ● システム接続が不完全。	● 電池を交換してください。 ● リモコンの有効操作範囲を確認してください。 ● リモコンの操作場所をずらすか、障害物を取り除いてください。 ● 接続した機器の取扱説明書の接続項目も参照して確実に接続してください。	15 9

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証致しかねます。大事な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音いただきますようお願いいたします。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、MDや、CD、部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDやCDを取り出ししておくことをおすすめします。結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

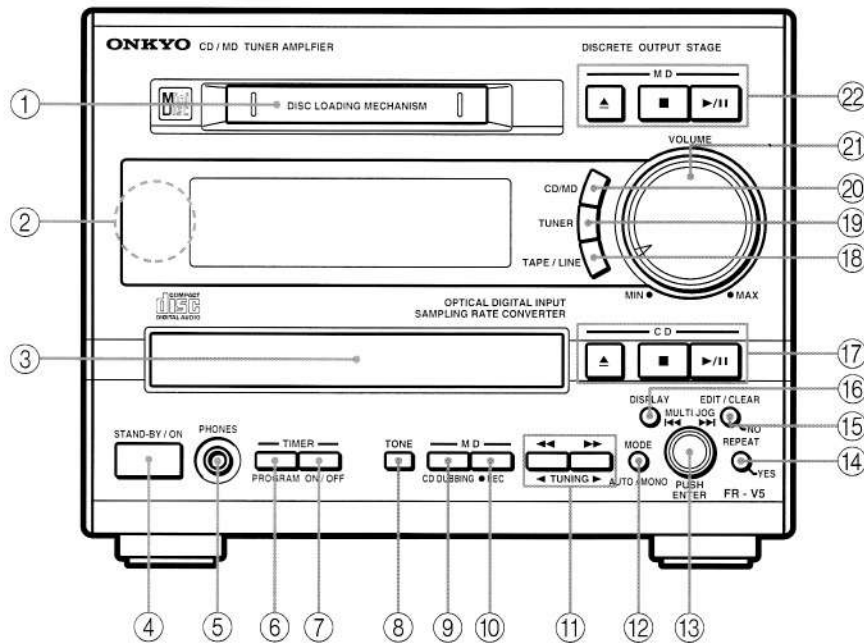
誤動作するときは

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。

各部の名称

[] 内の数字は、参照ページを示しています。

◆ 本体前面



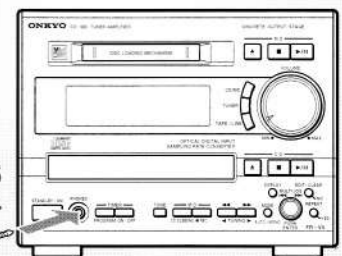
- | | |
|--|---|
| ① MD挿入口 [18] | ⑫ <small>モード</small>
MODEボタン [26, 27] |
| ② リモコン受光部 [15] | ⑬ <small>オート モノ</small>
AUTO/MONOボタン [21] |
| ③ CDトレイ [16] | ⑭ <small>マルチジョグ</small>
MULTI JOGダイヤル [11, 13, 16, 18, 20] |
| ④ <small>スタンバイ オン</small>
STAND-BY/ONボタン [10] | ⑮ <small>リピート イエス</small>
REPEAT/YESボタン [12, 28] |
| ⑤ <small>ホーンズ</small>
PHONES端子 [下記] | ⑯ <small>エディット クリア ノー</small>
EDIT/CLEAR/NOボタン [12, 30, 33~37] |
| ⑥ <small>タイマー プログラム</small>
TIMER PROGRAMボタン [11, 41, 44] | ⑰ <small>ディスプレイ</small>
DISPLAYボタン [17, 19, 21, 23] |
| ⑦ <small>タイマー オン/オフ</small>
TIMER ON/OFFボタン [41, 44] | ⑱ CD操作ボタン [16] |
| ⑧ <small>トーン</small>
TONEボタン [29] | ⑲ <small>テープ ライン</small>
TAPE/LINEボタン [10, 38, 45] |
| ⑨ <small>シーディー ダビング</small>
MD CD DUBBINGボタン [22, 32] | ⑳ <small>チューナー</small>
TUNERボタン [10, 12, 13, 20] |
| ⑩ <small>ロック</small>
MD ●RECボタン [24, 32] | ㉑ CD/MDボタン [10, 16, 18, 22] |
| ⑪ <small>チューニング</small>
◀/▶ボタン [16, 18, 31] | ㉒ 音量調節つまみ [10] |
| <small>チューニング</small>
TUNING ◀/▶ボタン [21] | ㉓ MD操作ボタン [18] |

ヘッドホンで聞くときは

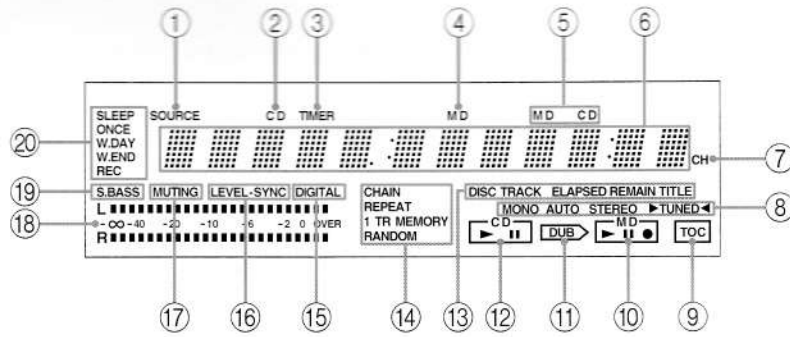
ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。
接続するときは音量を下げてください。
スピーカーの音声は消えます。



ホーンズ
PHONES
端子へ



◆ 表示部



①～⑤=多目的表示部(⑥)の内容表示

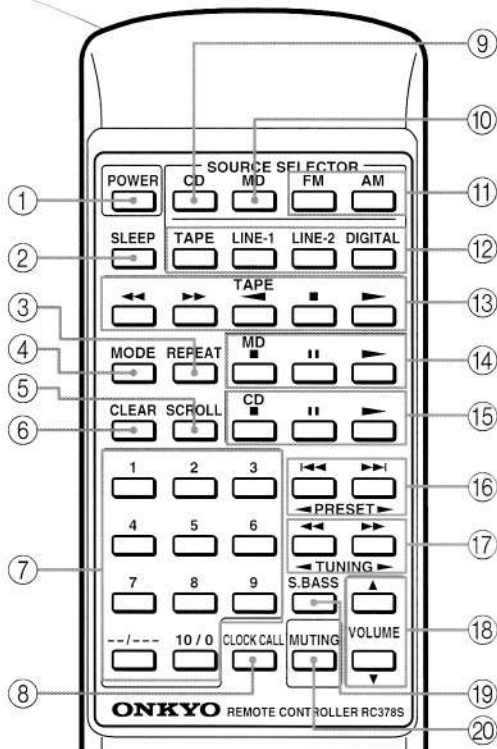
- ① SOURCE表示 [12, 16]
- ② CD表示 [22]
- ③ タイマー表示 [41]
- ④ MD表示 [22]
- ⑤ MD/CD切り換え表示 [23]
- ⑥ 多目的表示部

チャンネル

- ⑦ CH表示 [12, 13, 20]
- ⑧ FM受信情報 [21]
- ⑨ TOC表示 [23]
- ⑩ MD動作表示 [18, 22, 24]
- ⑪ ダビング表示 [22]
- ⑫ CD動作表示 [16]
- ⑬ 多目的表示部(⑥)のCD/MD情報の内容表示 [17, 19, 23]

- ⑭ 再生モード表示 [26~28]
- ⑮ DIGITAL表示 [10, 38]
- ⑯ レベルシンク表示 [25]
- ⑰ ミューティング表示 [29]
- ⑱ レベル表示 [25]
- ⑲ スーパーバス表示 [29]
- ⑳ タイマー表示 [40~44]

◆ リモコン



- ① POWERボタン [10]
- ② SLEEPボタン [40]
- ③ REPEATボタン [28]
- ④ MODEボタン [26~28]
- ⑤ SCROLLボタン [17, 19]
- ⑥ CLEARボタン [26, 31]
- ⑦ 数字ボタン [17, 19]
- ⑧ CLOCK CALLボタン [11]
- ⑨ CDボタン [10, 17]
- ⑩ MDボタン [10, 19]
- ⑪ FM/AMボタン [10, 21]
- ⑫ TAPE/LINE-1/LINE-2/DIGITALボタン [10]
- ⑬ 別売カセットテープデッキ、K-505操作ボタン
- ⑭ MD操作ボタン [18]
- ⑮ CD操作ボタン [16]
- ⑯ ◀▶ボタン [17, 19, 26]
- ⑰ PRESET ◀▶ボタン [21]
- ⑱ ◀▶ボタン [17, 19, 31]
- ⑲ TUNING ◀▶ボタン [21]
- ⑳ VOLUME ▲/▼ボタン [10]
- ⑲ S.BASSボタン [29]
- ⑳ MUTINGボタン [29]

その他

アフターサービスについて

◆ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

◆ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障とされています。

この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

◆ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、オンキョーサービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

◆ 修理を依頼されるときは

「おとこころ」「お名前」「電話番号」「製品名 (FR-V5)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

◆ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

◆ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入された時にご記入ください。

サービスを依頼される時などに、お役に立ちます。

購入年月日: _____ 年 月 日

ご購入店名: _____

Tel. () _____

メモ: _____

オンキョーサービス網一覧表

サービスならびに製品についてのお問い合わせ、あるいはご使用上、不都合な点がございました場合には、お買い上げの販売店またはよりのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

～ お客様にお願い ～

サービスご連絡の前に今一度、この取扱説明書をよくご覧いただき、お取り扱い方法をご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

札幌サービスステーション	☎ 011-747-6612 〒001-0028	札幌市北区北28条西5-1-28 第二松浦ビル 1F
仙台サービスステーション	☎ 022-297-0571 〒984-0051	仙台市若林区新寺4-9-5 第二丸昌ビル 1F
大宮サービスステーション	☎ 048-651-8612 〒330-0034	大宮市土呂町2-29-2 高安ビル 1F
宇都宮サービスステーション	☎ 0286-34-4307 〒320-0831	宇都宮市新町2-7-7
東京サービスセンター	☎ 03-3861-8121 〒111-0053	東京都台東区浅草橋3-8-5 31山京ビル 3F
横浜サービスステーション	☎ 045-322-9342 〒220-0072	横浜市西区浅間町1-13 共益ビル5F
国立サービスステーション	☎ 0425-76-1960 〒186-0011	国立市谷保7096番地
名古屋サービスステーション	☎ 052-772-1229 〒465-0013	名古屋市名東区社口1-1001
大阪サービスセンター	☎ 06-576-7620 〒552-0013	大阪市港区福崎2-1-49
兵庫サービスステーション	☎ 0794-83-7408 〒673-0415	三木市府内町2-5
広島サービスステーション	☎ 082-262-3315 〒732-0057	広島市東区二葉の里2-8-28
高松サービスステーション	☎ 087-868-5662 〒760-0079	高松市松縄町44-8西原ビル1F
福岡サービスステーション	☎ 092-418-1357 〒812-0006	福岡市博多区上牟田3-8-19 みなみビル202

※ 住所、電話番号は変更になる場合があります。



ONKYO®

オンキョー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

アフターサービスのお問い合わせ先:
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター ☎ 03(3861)8121 ●大阪サービスセンター ☎ 06(576)7620

ONKYO
HOMEPAGE
<http://www.onkyo.co.jp/>